Offshore

8
1987

社団法人 日本外洋帆走協会発行 No.149/300円
昭和62年8月15日発行（毎月1回15日発行） 昭和52年7月21日第三種郵便物認可

'87トランスパック参加の《摩利支天》
撮影：服部一良

ヨットクルージング

中国・長江(揚子江)へのチャレンジ

日中国交回復十五周年・半田市制五十周年記念事業

出港式のクルー全員

共催　愛知県日中友好協会
　　　半田市
　　　中日新聞本社
　　　日本外洋帆走協会東海支部
報告　ナビゲーター
　　　　中村　孝

半田市衣浦港を出港し東シナ海を横断，上海から揚子江を約400 km 遡江，南京までの全行程約2000 km の冒険『ヨットクルージング中国・長江（揚子江）へのチャレンジ』ヨット〈ビンド7〉乗組員の一員として参加，この航海記を報告いたします。

この行事は，日中国交回復15周年記念事業として計画されたもので，8世紀の奈良時代，鑑真和上の来日航海ルートを逆にたどり中国一の大河，長江（揚子江）を帆船（ヨット）で世界初の航海をしようとするものです。

また，南京到着後，南京，南通の両都市において，ヨット体験乗船，ヨット公開などを実施し，友好親善の輪を広げました。

5月31日08時　亀崎町　神前神社にて航海の安全を祈願

10時半　出港に先立ち式典開催

県日中友好協会長　久野忠治氏
半田市長　山田耕市氏
駐日中国大使館　顔　万栄氏
中日新聞本社専務　岩津良治氏
等挨拶

クルー紹介　花束贈呈
小林義彦艇長挨拶　決意表明

（小林）二週間後には必ず，〈ビンド7〉が白い帆を上げて南京長江大橋をくぐります。クルーと力を合わせ日中親善の大任を果たします。

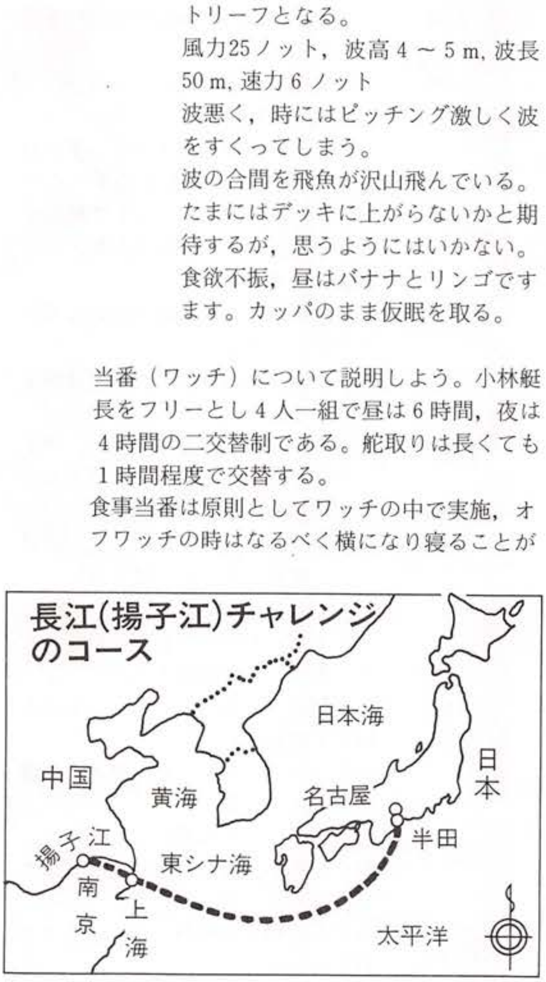
12時　衣浦港（半田）出港
約2,000人の見送りを受け，約50艇の伴走。祝福の警笛を受け，テープ，風船，クラッカー，鳴り物入りで出港。大いに感激する。
港内一周　見送りに応える。
巡視艇の放水，祝福の警笛，信号旗（ボンボヤージ）
港外に出てメインセールをアップ
伴走艇を従えていよいよ出発
衣浦港防波堤外でジブセールもアップ　クローズホールド
まだまだ伴走艇多く見送ってくれる。
生田鼻ブイ沖では，蒲郡・幡豆のヨットが見送ってくれる。
知多半島師崎沖　マーク・カレラが最後まで見送ってくれる。

16時　神島西を通過

20時　大王崎東を通過

6月 1日00時　大王崎南東沖でタック　西方に針路を変更
06時　尾鷲南東沖を通過
08時頃　1m以上のシーラがトローリングで釣れる，早速料理し刺身で食べる。食べ切れず，保存することとする。
13時半　潮岬南を通過　天気快晴。
15時　スピンを展開　快調に滑る。
18時　夕日が沈む頃スピンを降ろす。
田辺保安と無線交信，天候悪くなるので注意するようにとのこと……
何時も天気が良いわけがない，黄海に低気圧がある，荒天準備である。
6月 2日00時　室戸岬南を通過
06時　南南東の風　快調に滑るが雨が降りだした。
08時　高知南沖を通過，コースを九州佐多岬に取る。
風が強くなったので，早目，早目のセールチェンジ
PM　午後には，ストームジブに3ポイントリーフとなる。
風力25ノット，波高4～5m，波長50m，速力6ノット
波悪く，時にはピッチング激しく波をすくってしまう。
波の合間を飛魚が沢山飛んでいる。たまにはデッキに上がらないかと期待するが，思うようにはいかない。
食欲不振，昼はバナナとリンゴですます。カッパのまま仮眠を取る。

当番（ワッチ）について説明しよう。小林艇長をフリーとし4人一組で昼は6時間，夜は4時間の二交替制である。舵取りは長くても1時間程度で交替する。
食事当番は原則としてワッチの中で実施，オフワッチの時はなるべく横になり寝ることが



〈ビンド7〉いよいよ出港

一番である。バースは9人分あるが荷物が多いため7人分確保，二交替なので十分である。水は常設タンクの他にミネラルウォーター（1リットル入）を用意，往復分を確保（中国の水は飲用に適さない）。燃料はタンクを増設し250リッター用意した。他に食料等大量に確保したため，かなりオーバーウエイトである。このため従来では，かぶったことのない波しぶきをかぶってしまう。
重いバウを少しでも軽くしようとロープ，セール等をスターンに移動，結果，波しぶきがいくらか減少した。

16時　天気図の作成時，吐き気をもよおす，なんとか作成できたが苦しい。低気圧が発達しながら日本海に進んでいる。この低気圧への吹込みがこのシケを呼んでいる，明日まで続きそうである。
17時　足摺岬南沖を通過
18時半　二度続いたパンチングの後，パシッの音と共に風下のロアーロッドステーが切断。オールハンズ，セールダウン，機走で様子を見る。
風下側で良かった，風上側ならマスト折損である。運が良い。
波は悪いがこのまま機走できそうである。

善後策を考える，風，波の向きと天候の予測，避難すべき港はどこにすべきか。土佐清水，細島，宮崎，油津……
到着予定，先の予定等を考えて九州日南市油津港に臨時入港を決定，高知保安と連絡を取り許可を得る。また，小林艇長の自宅に故障内容の連絡と修理材料の手配を依頼する。くれぐれも航行に支障なく全員元気である旨を伝えておく。

見送りの各艇

6月 3日00時　機走で航行するが波悪くまた，潮の流れもあり予定どおりには距離が出ていない。足摺岬の南南西沖約50マイル，油津への入港は昼過ぎになる予定。

01時　雷雨，寒冷前線が通過
雷が遠くの方で光っている。土砂降りが30分程続く。

08時　雨は止み，天気回復。早速濡物を干す。やはり，予定どおりには距離が伸びていない。鹿児島保安に到着予定の変更を連絡する。
天気が回復しトローリングを始めると早速40 cm 程のソーダカツオが釣れる。加藤漁労長が腕を奮い刺身料理ができる。ボタン造り有り，海苔巻有り，なかなかの腕前を披露してくれる。
食欲がぐーんとあがり，おいしい朝食である。

14時　日南市油津港に入港，海上保安署前の岸壁に接岸,報道が待構えている。
「マストが折れたと聞いたが」「え？」
「マストはこのとおり大丈夫です。マストを支えるロアーシュラウドが切れました。これです。」
やはり正しく伝わっていなかった。
早速，電話で地元に連絡，修理手配の確認をする。明日午前中には取替用材料が到着する。
せっかく上陸できたので不足用品の購入とか風呂に入るなど英気を養う。

6月 4日12時　修理材料到着　早速，取替工事にかかる。

13時　全て完了，航海計画の変更届けを提出し，出港。

14時　中日新聞社，取材飛行にくる。
風は南南東10ノット　フルセールで元気よく再出発，皆手を振って取材に応える。長江口まで残すところ540マイル，平均6ノットで航海すれば予定どおりに6月8日朝，長江口着である。
明日の朝には大隅海峡を通過している予定である。

18時　向かい風，向かい潮のため都井岬をようやく越えたところ。

6月 5日00時　佐多岬がなかなか近づかない，沖出しで種子島の赤灯台がよく見える。

04時　佐多岬南沖をようやく通過

08時　開聞岳（薩摩富士）が右（北）に見える，桜島はあいにく見えない。
真正面に竹島が見える,風無く機走。
メインセールダウンし，昨日切れたリーチロープを修理する。

14時　草垣群島，これを抜けると，もう中国まで島は無い。
海亀が泳いでいる。頭が見え，甲羅が少し出ている。
近付こうとしたら逃げてしまった。
飛魚が飛ぶ，静かな海に少しはばたき，すーっと飛んでいく。
ヨットの横から飛び，200 m 先まで飛んでいく。

イルカを見る,集団で回遊している。中に背びれの違う物がいる。シャチだ。私は見なかったがカジキが飛び跳ねたそうである。

19時半　夕日が素晴らしい，水平線に丸い太陽全体が少しづつ沈むのを見る。

21時　８日の月明りの中，沈む月を目標に西へ西へと進める。
この月も南通に着く頃には満月になる。月夜の長江が楽しみである。
月が沈めば満天の星空，天の川もはっきり見える。

6月 6日08時　朝食時を狙ったようにソーダカツオが釣れる，早速刺身である。今日も風弱く，穏やかな東シナ海を行く。

10時　またソーダカツオが釣れる。今度は加藤さんの料理講習会開催となる。まず頭のおとしかた，次に三枚におろして……
青山，杉野，久田の新人がそれぞれ挑戦する。出来映えは少し形が崩れたが，新鮮な材料だけに味は陸の物とは比較にならない。

11時　その後も天気快晴，風弱くのんびりムードが続く。オセロゲーム，将棋花札など，それぞれ相手を見つけてゲームに興じる。

15時　ようやく風紋がでてきた，まずは向かい風（西南西）である。

18時　南西の風，針路は270度（西）丁度良いが曇り空になった，下り坂のようである。気象通報を聞きたいが長波放送はもう受信できず，短波を聞こうとするが雑音が多く聞き取れない。
上海付近の低気圧が東進しているようである。

6月 7日04時　ワッチ当番で起床。風が北西に振れている。濃霧である。視界100ｍ程か懐中電灯では全然届かない。ジブを降ろし前方が見えるようにする。
１時間程で霧は薄れてきた。

08時　霧はなかなか晴れない。このまま下り坂，雨模様である。
風は十分有る。予定どおり８日早朝には長江口に到着できるだろう。

12時　雨，降ったり止んだり，２隻だての漁船があちこちで操業している。

20時　東シナ海最後の夜，明日朝には長江口である。
雲は厚く，暗い夜，岸に近づくため細心の注意が必要である。
まずは花鳥山（灯台有）を確認し北上する予定。

6月 8日02時　左前方に花鳥山らしき灯台を確認（灯質不一致）
右前方には本船の明かりが沢山見える。
コースはクロスで270度，予定どおり。このまま西へ進む。

04時　花鳥山の北を通過，長江口錨地らしきところに本船の明かりが多数見える。
明るくなるまで西へ進みそれから北上することにする。

05時半　ドンドーンと大きな音とショックがある。充電のため機走していたがエンジンストップ,慌てて甲板に出る。回りを見るが真暗，何も見えない。
エンジンをスタートさせてみる。大きな震動が出る。何かプロペラに支障がでたようである。他には異常を感じない。
20分程でまた，ドーンとくる。何も見えないがタックしてもらう。

06時　雨は小止みになった、ようやく明るくなってくる。
「流木だ」「どこだ」　「10時方向」「了解」
よく見ると流木ではない。３本づつ組んである。10M間隔で続いている。網もついている。どうも定置網のようである。
１本の直径は10 cm 以上ある。どこまでも切れ目がない。これに接触したようだ。網がペラにからまったか，それともシャフトが曲がったか。これから長江というときに……。

07時　本船錨地にくる。本船が沢山待機している。明るくなって一隻づつ動きだした。長江口方向に向かっていく。我々も長江口方向へ……ややっ，３本組みの定置網が前方に現れる。タックし避ける。でも，また定置網が前方に現れる。タックせざるを得ない。当然また定置網が前方に現れる。どうすればいいのだ？
本船が向かったんだ，どこかにコースがあるはずだ……パニック状態。よく見ると網と網の間はつながっていない間隔の長い所もある。
間隙を縫って進めばよいのだ。でも本船はどのようにしているのか？

07時半　ようやく抜け出した。長江口灯台船が見える。

08時　長江口灯台船通過。
ジャーンジャーン，ドラの音。霧鐘に迎えられようやく長江口に来た。
「万歳！」

長江口での一言
（小林）東シナ海は荒れたが，クルーも船も頑張った。
これからが挑戦本番だ。

雨は止んだが視界１マイル，パイロットはNo. 6ブイで待っている。
海の色が変わり出す。いよいよ長江だ。
部分的に浅い所もあるようだ。波のようすに違いがあり，航路から離れると定置網もある。
潮の影響で距離が伸びない。ブイの間隔は約２マイル。
No. 6ブイまでは向かい風，スピードは５～６ノット。10分間隔でタックする。
視界不良のためコースを外せない。たまに本船がくると確認できる。

11時　No. 5ブイを通過。パイロット船が見える。

11時半　小船でパイロットがやって来る。乗船。

引航を依頼するが「風がある，セイリングしよう」と言われる。
コースはこの先さらに上りになるはず……イヤとは言えずセイリング開始。
不思議なことに風はシフトし片上り一本となる。
天候もどんどん回復，青空が広がる。コースも，さらに上りになるはずが河に沿って風もシフト。片上り一本が変わらない。
５～６ノット順調に滑る。でも流れに逆らうため２～３ノットしか出ない。

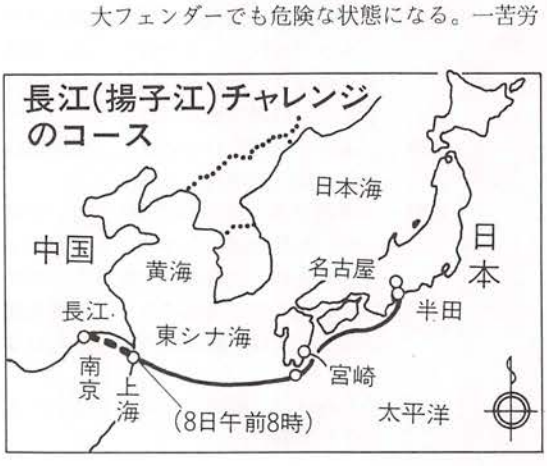
17時頃　座州，ズー，ズーッ船が止まる。５～６回で通過。
パイロットの説明では，
「泥の塊が動いている。大丈夫，ノープロブレム，ノープロブレム」泥色で何も見えない。心配であるがパイロットを信頼するほかない。

19時半　中国巡視艇が出迎えてくれる。丁度，夕日が沈むところである。

20時　上海，宝山錨地に到着，アンカーを降ろす。

アンカーの位置が悪く移動しようとしたがこれが大作業。
３ノット以上の流れに逆らって人力でアンカーを上げようとするが上がらない。ロープが船底に回り、ラダーにも掛かってしまう。
５～６人で掛かるがコーミングにロープの跡がつく程。だが上がらない。ついにあきらめブイを付けレッコ。流れが無ければ、エンジンが使えればわけないのだが…。
ヨットも巡視艇も流れが強く風に立たない。
改めて流れの強さを認識。
巡視艇に引航を依頼したが接舷時、力余って接触。無線アンテナ折損，衛星航法用アンテナ曲損，コーミング一部損傷，先が思いやられる。

23時すぎに一件落着，巡視艇に接舷し一安心と思ったが……。
これも深夜（３時）に流れの向きが変わり，風と流れの向きが逆になってオールハンズ，スターンから波が寄せヨットが安定しない。
大フェンダーでも危険な状態になる。一苦労



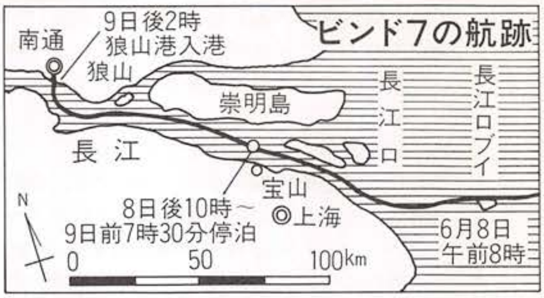
して向きを変えようやく安定ほっとする。
このように，錨泊中もかならず交替でワッチしなければならないのです。

6月 9日08時　検疫も入国手続きに合わせ南通で実施すべく1時間早く宝山出発。
南通に少しでも早く着いてスクリュウ等の点検をしたい。

本日も天気快晴，風に恵まれ片上りで快走，日中友好のフルセールだ。
空はあくまでも青く，河は茶色。なんともいえないアンバランスである。
右舷に中国旗，船尾に日の丸，行き交う船に手を振って友情を深める。
客船，タンカー，荷物船，漁船，フェリー等，新型も旧型も入混じっている。昨日と同じく，河に沿って風がシフトほとんどクロス……。
非常に視界が良く，航程の中ほどで，南通・狼山が見えてきた。
狼山は河口から初の山で良い目標となる。

14時　良い風に恵まれ予定より早く南通市・狼山港に入港，桟橋に横付け。
太鼓ドラの音に迎えられ熱烈歓迎を受ける。
歓迎横断幕もある。『熱烈歓迎　日本帆船 VIND 7　抵通』

検疫，入国手続きを終え，さっそくスクリュウの点検。
こんなこともあろうかとダイバー用品を用意してきた。
山城さんが潜る。河は泥水。流れもある。苦労したが視界悪く（10 cm）点検不能。手探りでわかったことは、網、ロープ等が付着していないことだけであった。
スクリュウ，ブラケット，シャフトの損傷は手探り程度ではわからない。
上架も考えたが良い施設がなくあきらめる。
最悪の場合（無風）は巡視艇に引航してもらうこととする。
夜は歓迎夕食会を開催していただく。シャワーも浴びて居心地がつく。
その後，巡視船を訪問し乗組員と友好を深める。
片言の英語，中国語，筆談でなんとか意思はつうじあう。
夜は警備員が付く。我々のワッチ無しゆっくり寝る。



6月10日09時　出港手続き後，出港。
今日は追手の風，早速スピンをアップ。長江での初スピン。
残念ながら風弱くスピード出ない2ノットでは対地速度はマイナス。
10時　1時間で1マイルしか進んでいない。あきらめよう。
ついに，巡視艇に引航を依頼。

その後，3時間程で再び風に恵まれセイリング開始。
途中スピンを揚げた時，丁度撮影禁止区域にあたる。軍事施設があるようだ。

17時　本日の予定を消化，土手が見えるだけの河のほとりで巡視艇に接舷。巡視艇にはシャワーを借りたり，水をもらったり世話になりっぱなしである。
明け方3時，またオールハンズ，一昨日と一緒，流れが変わった時である。

6月11日　天気良し，本日も追風，申し分なし。風良すぎてリーフ，スピンはやめ，予定どおりの航程が消化できれば良い。デッドランが多くジャイブを繰返す。16時，予定の航程を消化，本日は本流から水路へ入り停泊。流れもすこしは弱そうである。土手の向こうに畑が見える。子供連れのお婆さんがクワを入れている。港以外の所で人を見るのは初めてである。風もおさまり今夜は起こされないで済みそう。私のワッチは，02時～04時一番つらい時間である。停泊した水路は，北京へ通じる水路の分流である。ここからだと北京まで約1000 km もある。気が遠くなってしまう。我々外国船は，規則で夜航海できないが，荷船が夜もよく航行している。

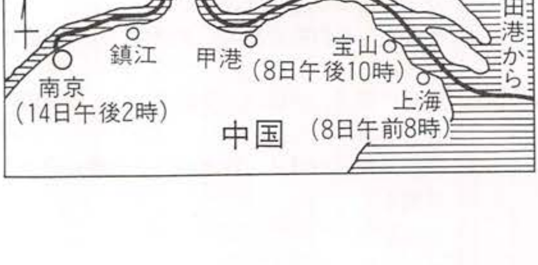
6月12日　水路からでるとすぐ撮影禁止、河口から初の横断送電線を通過するが，ノーピクチャー……一見、そんな大事な施設があるようには見えない。

本日も風良し、でも天気は下り坂、明後日の南京入りまでに天気が回復してほしい。今晩は巡視艇から夕食の招待をうけている，楽しみ。
鎮江沖を通過、金山寺がよく見える。
15時には予定の航程を消化、停泊する。停泊場所は、支流なのだが非常に強い流れ５ノット近い。岸から50ｍ程だが深さ20ｍもある。土手の向こうに人家が見える。17時頃勤労者の通勤船が土手（桟橋無し）に着き沢山の人を降ろしている。
18時、巡視船のサロンで夕食会がはじまる。驚いた！中国料理が盛りたくさん。船の上でもこんな料理ができるのか！うらやましい。我々の食事は積載量に制限され一食一食が少ない。シケの時は食欲も無くよいのだが、天気が良いと食欲向上、長江に入ってからは波少なく天気良くすこぶる快調。全員快食するのでコック長は少なくなる食糧を気にしながら献立を工夫する。大変な仕事である。
アヒル、鶏の丸焼き……等などテーブルところせましと並んでいる。アルコールも入り英語、中国語、筆談などしながら、日中友好は夜の更けるのを忘れさせてくれる。
こんな日でもワッチ当番はある。今夜のワッチは、風無く、流れにまかすのみで静かである。小雨まじりのためカッパを着用しワッチしていると巡視艇のワッチがイスを用意し軒を貸してくれる。大助かり。

６月13日　朝から雨、明日さえ良ければと期待する。
天気は悪いが風は手頃、順調に帆走する。南京に近いためか港が多い、我々ヨットが近づくと桟橋に人が出て手を振ってくれる。こちらも負けじとばかりに大きく手を振る。
途中、オイルタンク群や火力発電所もあった。いよいよ最終の南京が近いのだ。今日の停泊場所は支流である。流れもゆるやかでありがたい。南京まで15マイルの地点、予定の航程を消化し停泊。
最後の夜、昨日のお礼を兼ねて我々が彼等を招待する。ヨットでは料理の接待は無理、アルコール等の接待とし夕食は各自とってから巡視艇のサロンへ集合。昨日、中国側は代表者７人のみであったが今晩は全員集合をお願いし、お礼の帽子を渡す。ウイスキー、ワイン等で乾杯につぐ乾杯。楽しい一晩をすごした。

６月14日　７時起床、素晴らしい晴天が広がっている。
『うれしい！』
でもこの晴天も束の間、朝食後の８時には曇ってくる。
９時半出発、適速な追風である。
長江口から延べ50時間、このうち引航してもらったのはたった５時間程度。友情の風は常に〈ビンド７〉の遡江を応援、素晴らしいセーリングをプレゼントしてくれた。このまま南京長江大橋を通過，スピンを展開し南京で待っている皆さんに素晴らしいセーリングを披露したいものである。
10時10分　長江大橋を遙かに見ることができる。嬉しいオールハンズである。近くでドーンと鈍い音が響く。砕石か、砲弾かよくわからない。
11時30分　このまま行けば12時丁度が長江大橋通過の記念すべき時間と思いきや、待機指示がでる。１時間程帆を降ろし、巡視艇に接舷。
12時50分　いよいよ大橋に向かう。上を見上げると余裕を感じられない。真近に迫ってくる。「よし！」「いける！」「だいじょうぶ！」
13時10分　大橋通過、ただちにセールアップ、でもスピンアップのOKがでない。パイロットが考えている。クルーがスピンをセットし待っている。カラフルなセールをあげたい。ようやく意思が通じOKサインでも時間は少ない。15分でスピンダウンただちに南京港桟橋に向かう。桟橋には多くの人が出迎えにきている。久野会長、伊藤団長、他に復路のメンバーもいる。『やっと来た！』『うれしい！』感激に心が高ぶる。接舷完了、山下コック長がとっておきの冷たいビールを開けてくれる。『乾杯！万歳！』『おめでとうございます』

『一帆風順』
『友情の風に乗って〈ビンド７〉はやってきました』
『ありがとうございます』



1987年 1/8TON 全日本選手権レース実施要項(案)

1．主　催：日本ミニトン協会
2．主　管：日本ミニトン協会関東支部
3．後　援：㈱葉山マリーナ
4．適用規則
本大会は，NORC外洋レース規則（但し第4条は除外し，本実施要項の6を適用する）および大会帆走指示書を適用する。
5．レース日程
10月2日㈮～7日㈬
　縦の搬入（但し，4日㈰の陸上から搬入及び6日㈫は定休日の為不可）
10月7日㈬13：00～16：00　インスペクション
　16：00～17：00
　最終申告（レース本部）
　17：00～18：00
　艇長会議（キャプテンズルーム）
10月8日㈭09：00～
　第1レース
　オリンピック・コース
　第1レース終了50分後　第2レース
　オリンピック・コース
10月9日㈮09：00～16：00
　第3レース
　ショート・ディスタンス・コース
10月10日㈯07：00～17：00
　第4レース
　ロング・ディスタンス・コース
10月11日㈰09：00～
　第5レース
　オリンピック・コース
　14：00～　表彰式
6．参加資格
レーサークラス
(a)NORCの登録艇もしくは会友艇で、艇長は会員か会友であること。
(b)IORもしくはJOR 17.4 ft以下の有効なレーティングを有すること。
(c)ORC安全カテゴリー4，およびNORC設備規定C以上の安全検査に合格していること。
クルーザークラス
(a)NORCの会友艇で，艇長は会員か会友であること。
(b)JOR 17.4 ft以下に相当するクルーザーレーティングを有し，かつ本レース委員会が参加を承認した艇。
(c)JCI限沿に合格していること。
但し，本大会に限りレーサークラス・クルーザークラス共に次の備品は追加する。
(a)ハーネス　（乗員分）
(b)紅色パラシュートフレア　×2
(c)自己点火燈　×1
レーサークラス・クルーザークラス共に日本ミニトン協会の登録艇であること。
入会は，最終申告時に完了していなければならない。
入会金1艇につき5,000円
年会費　〃　2,400円
7．開催場所
㈱葉山マリーナ（神奈川県三浦郡葉山町堀内50-2 ☎0468-75-7485）をホームポートする相模湾（ハーバーマスター　渡会）
8．参加申込
申込先　ヤマハ発動機㈱東京マリン企画室内ミニトン全日本実行委員会
　〒105 東京都港区東新橋1-1-2秀和新橋ビル3F　03-574-9617㈹
締切日　昭和62年9月30日㈬
申込方法　申込用紙に参加料を添えて，申込先へ郵送のこと。
参加料　1艇につき30,000円
9．最終申告
日　時　昭和62年10月7日㈬16：00～17：00
申告先　葉山マリーナ内に設置するレース本部
必要書類と現金
(a) 乗員エントリーリスト（所定の申告書に限る）
(b) レーティング証書コピー
(c) 安全検査証および備品リストコピー（以上レーサークラス），船検手帳コピー（以上クルーザークラス）
(d) 乗員参加料エントリー1艇につき10,000円（但し，レース中乗員の弁当4食分を含む）
10．艇長会議
日　時　昭和62年10月7日㈬17：00～
場　所　葉山マリーナキャプテンズルーム

11. 出艇申告

日　　時　昭和62年10月8日(木)08：00～

申 告 先　葉山マリーナ内に設置するレース本部

必要書類　(a)　乗員氏名

12. 得点方法

修正時間システム（TCF）を採用し，16.5 ft 以下の艇は16.5 ft とする。

得点は　1位……エントリー数+¼点

2位……　　　　　－1点

3位……　　　　　－2点

順次マイナス1点ずつ加点する。

DNS, DNF, RET……1点

DNC, DSQ…………0点

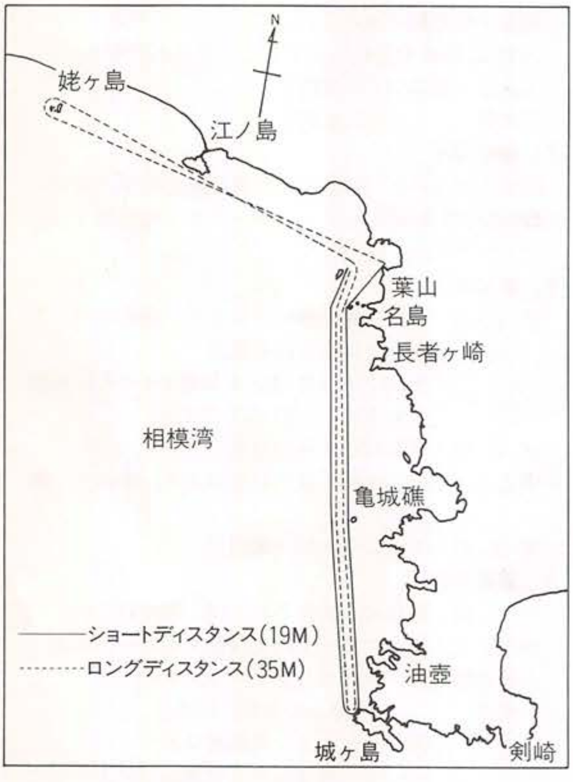
得点に対する係数

オリンピック・コース・レース………………×1.0

ショート・ディスタンス・コース・レース……×1.5

ロング・ディスタンス・コース・レース………×2.0

13. レースコース



14. 失格に代わる罰則

オリンピック・コース・レースは，IYRR 付則3.1 720度の回転の罰則，ショート及びロング・ディスタンス・コース・レースは，IYRR 付則3.2パーセンテージの罰則を適用する。又，Ⅵ章以外の規則違反に対しては，失格又は，パーセンテージの罰則を適用することがある。パーセンテージは，エントリー艇数の10%以上，順位はすくなくとも1以上さげるものとする。

15. 賞

レーサークラス	1位	MINI TON CUP 石原慎太郎杯 TOYOTA CUP
	2～3位	トロフィー
	プロダクショングランプリ艇	トロフィー
クルーザークラス	1～3位	トロフィー

16. 艇の搬入及び保管

艇の搬入は10月2日(金)より受付け，諸費用は次の通りとし，各自払いとする。尚，事前にハーバーマスターに連絡のこと。（定休日火曜）

(a)係留料　　　1日につき

(b)陸上預かり料　　〃

(c)上下架料　　　1回につき

(d)マスト立て，倒し　〃

17. オープニングパーティー

主催　日本ミニトン協会

日時　昭和62年10月7日(水)18：30～

場所　葉山マリーナ（プラザ3Fエメラルドルーム）

会費　1名につき3,000円

（1艇2名以上参加願います）

服装　ブレザー着用のこと

18. ウエルカムパーティー

主催　葉山マリーナヨットクラブ

日時　昭和62年10月10日(土)トップ艇入港後～

場所　葉山マリーナ（キャプテンズルーム前）

費用　無料

服装　自由

19. その他

NORC 外洋レース規則第5条5の規定は，全レースを取消した場合のみ適用する。

本大会は，参加申込艇数が5艇未満の場合はレースを行わない。

20. 宿泊

各自で手配すること

参　考　ホテル・シーサイドハヤマ　0468-75-7921

逗子なぎさホテル　0468-71-4260

民宿・与兵衛丸　0468-75-3180

21. 交通

JR 横須賀線“逗子”駅よりバス（葉山一色行）で約15分“アブヅル”下車，徒歩2分

22. 問い合せ先

ミニトン全日本実行委員会　担当　神戸

〒105　東京都港区東新橋1-1-2秀和新橋ビル3F

ヤマハ発動機(株)東京マリン企画室内

03-574-9617(代)

'87 トランスパック 速報

85年の前回とは比較にならないほど，今回は風に恵まれたようである。コースのなかばで，クラスＡの艇は従来のデイズラン記録304浬を大巾に塗り替えた。所要時間の新記録も10年ぶりで樹立されるかと期待されたが，ハワイ諸島に近づくにつれて風はやや落ち，新記録にはわずか１時間弱，及ばなかった。それでもファーストホーム艇は史上第２位の，8,12：00′40″の快記録だった。

日本から参加した，〈摩利支天〉は，所要時間9,19：05′36″，修正8,09：40′50″でクラスＢ14艇の中で５位，フリートは参加艇中23位。〈ロシナンテ〉は，所要時間11,13：48′20″，修正8,16：25′20″でクラスＣ15艇の中で７位，フリート順位は34位。

なお83年からチャレンジを続けている〈摩利支天〉は，83年のクラスＣ２位入賞に続き，今回，外国艇参加部門で１位を獲得した。

アメリカズカップ前に集合の〈摩利支天〉全メンバー。クルーが手にするのは外国艇参加部門第１位の楯。トロフィーディナーにて。

フィニッシュ直後，12日ぶりの大地を踏んで，よろこびの乾杯をあげる，〈ロシナンテ〉のクルー。

第28回パールレースによせて

レース委員長　加藤蔵男

台風情報に一喜一憂し，一時は紀伊半島上陸，鳥羽直撃と悪い予感がしたのですが，我々レース仲間に気がねしてか，中心気圧が衰弱し，レース当日は絶好のスピンラン日和となりやれやれの思いでした。全艇沖出し，岸なめグループと別れ，あれよ，あれよという間に水平線の霧の中に消えて行きました。この調子ならパールレースのタイム新記録が出るのではと期待しながら，レーススタートラインを撤収して，レース本部の朝雲館下までセーリングを楽しみました。

（レース艇とは反対にクロス，クロスの連続で）

パールレース始って以来の最高エントリーと楽しみにしておりましたが，台風情報に禍され参加艇が少なかったのが残念です。

① 出艇申告について

事前のレース案内にくれぐれも必要書類完備の上，申告される様，念を押してあったのですが，書類不備の艇が多数あります。事務処理に因りました。次回より，オーナー，スキッパーに完全な書類を準備してレースに臨まれる様，希望します。

② 艇長会議について

例年，本部と会議室とが同じ旅館でしたが，今年は遠かったので，皆さんに御迷惑をかけたと思います。来年は皆さんに便利な場所を考えて設定したいと思います。

③ スタートについて

台風一過のNWの適当な風となり，全艇スピンランにて絵になる（写真になる）報道関係の喜ぶスタートになりました。問題になる様なトラブルも無った様です。漁船の見送り，花火も，大変よかったです。

第29回（来年）は，もっと沢山の出艇を期待して，安全で思い出に残る楽しいレースになる様，望みます。

第28回　鳥羽パールレース成績表

風速　6 m/s　　距離　150M　　**レース委員長　加藤蔵男**

	CLS	SAIL No.	艇名	オーナー	TYPE	R.m	T.A	到着時間 M D H M S	所要時間 E.T	修正時間 0	到着順位	総合順位
	V	3612	ANGLER III	大塚　克美	YOK 28	6.75	622	8 1 13 8 31	94111	811.0	7	1
	III	3693	DEKUBRIGHT III	清田　幸夫	DH 38	8.30	573	8 1 11 7 12	86832	882.0	5	2
	II	3233	SEE ADLER V	堀内　滋彦	DOU 42	9.90	534	8 1 9 31 42	81102	1002.0	1	3
△	III	3614	LE CIEL(ル シール)	足立　好康	SIR 38	8.40	570	8 1 11 16 23	87383	1883.0	+10M, 3	4
	III	3553	スイング	鈴木　重行	DH 38	8.60	565	8 1 11 6 27	86787	2037.0	4	5
	IV	2851	ETUI(エトュイ)	梅沢　勇	KAW 31	7.10	610	8 1 13 41 49	96109	4609.0	8	6
△	II	2777	光(ヒカリ)	砂田　信一	SW 391	9.25	548	8 1 11 13 48	87228	5028.0	+10M, 2	7
	V	3770	FAR EAST	大川　雅士	YAM30S	6.90	617	8 1 14 6 48	97608	5058.0	11	8
	V	3054	TIGHT LASS	岩崎　洋右	YAM30C	6.85	618	8 1 14 12 57	97977	5277.0	12	9
	III	2962	SELENE III(セレーネ)	篠崎　文則	FAR 34	8.30	573	8 1 12 35 26	92126	6176.0	6	10
	IV	2927	HARIMAO(ハリマオー)	藤山　卓男	NAK295	7.45	598	8 1 13 46 30	96390	6690.0	9	11
	VI	3015	MANBO(マンボー)	斎藤　晃	NAK 26	5.80	661	8 1 16 31 9	106269	7119.0	23	12
	IV	3703	CAP FERRAT	鴨居　雄三	BNT 33	7.45	598	8 1 13 58 41	97121	7421.0	10	13
	V	3484	うらなみ VII	市川　勇	TAK 30	6.80	620	8 1 15 32 28	102748	9748.0	14	14
	V	3371	WHITE CROW	菅沼　慎一	YAM30S	6.65	626	8 1 16 20 20	105620	11720.0	20	15
	IV	3713	さち風	岡安　幸子	Y30CR	7.20	606	8 1 15 35 33	102933	12033.0	16	16
△	IV	3640	CAPRICIOUS	杉本　幸男	EDV 30	7.05	611	8 1 15 55 13	104113	12463.0	+10M, 19	17
	IV	3592	LAHAINA III(ラハイナ)	佐藤　文昭	EDV 30	7.30	603	8 1 15 36 18	102978	12528.0	17	18
	V	3181	HENRIQUE(エンリケ)	鈴木　秀夫	VAN 30	6.75	622	8 1 16 52 30	107550	14250.0	28	19
△	V	2234	桃　李 III(トーリ)	佐々木研一	BNT 29	6.50	631	8 1 17 15 29	108929	14279.0	+10M, 29	20
△	V	3756	ARROW EXPRESS	柴　善一	J-29	6.95	615	8 1 16 40 26	106826	14576.0	+10M, 22	21
△	IV	3757	風小僧東京(カゼコゾウトーキョウ)	加藤　享	YOK 33	7.90	584	8 1 15 29 39	102579	14979.0	+10M, 13	22
	III	386	MORE JOY CINQ	石川　幸久	BNT345	8.00	581	8 1 15 33 51	102831	15681.0	15	23
△	IV	678	YAMATOTAKERU	山口　徳行	YOK 33	7.75	589	8 1 15 53 57	104037	15687.0	+10M, 18	24
△	IV	3039	SOUMI-Y(ソウミ)	佐藤　三次	VEN 30	7.15	608	8 1 16 41 28	106888	15688.0	+10M, 24	25
	V	3541	GOOD ONE	高橋　徹生	Y 30C2	6.90	617	8 1 17 7 28	108448	15898.0	30	26
	IV	3580	りゅうおうまる	倉持　和夫	BNT325	7.50	596	8 1 16 36 19	106579	17179.0	25	27
	III	3161	DARMA II(ダーマ)	五島　徳雄	FJ 45K	8.25	574	8 1 16 50 58	107458	21358.0	27	28
△	III	1922	SPIRIT OF BARON	塩川　孝二	S&S 38	8.55	566	8 1 16 38 2	106682	21782.0	+10M, 21	29
	IV	2862	おおみずなぎどり	北村宗アキ	U-34	7.75	589	8 1 18 31 10	113470	25120.0	31	30
	I	3760	童　夢(ドーム)	仁平恵司郎	CT 47	10.55	520	8 1 16 47 26	107246	29246.0	26	31

△：出艇申告遅延及び書類不備1時間以内　フィニッシュ時間に10分のペナルティを加算する　スタート日時　7月31日11時0分0秒

鳥羽パールレース　第28回戦総合順位成績表

1987.7.31スタート時間：11時00分00秒　レース委員長：加藤蔵男

	SAIL	艇名	フリート	オーナー名	TYPE	CL	Rft	T.C.F.	フィニッシュ時間	所要時間	修正時間	PN(%)	着順	順位
	2500	HORIZON 5		頓瀬 愛彦	YOK31	5	22.46	0.7339	08/01.16:16' 28	01.05:16' 28	00.21:29' 04	0.00	7	1
	3571	CROW		高井 理	TAK26	5	19.02	0.6961	08/01.17:52' 09	01.06:52' 09	00.21:29' 16	0.00	62	2
	3387	BASIC	シーボニア	小板橋 博行	YOK28	5	21.59	0.7247	08/01.16:43' 26	01.05:43' 26	00.21:32' 27	0.00	47	3
	3344	SUPER WAVE	東海	長坂 収	YAM30R	5	22.69	0.7363	08/01.16:23' 30	01.05:23' 30	00.21:38' 27	0.00	10	4
	3485	ISIS	シーボニア	北中 壮彦	YAM30R	5	22.48	0.7341	08/01.16:32' 21	01.05:32' 21	00.21:41' 04	0.00	24	5
△	3203	VIVACE		福本 金生	YOK31	5	22.41	0.7334	08/01.16:34' 30	01.05:34' 30	00.21:41' 25	0.00	29	6
	3494	ARC-EN-CIEL 2	シーボニア	福田 祐一郎	YOK30N	5	22.66	0.7360	08/01.16:29' 10	01.05:29' 10	00.21:42' 06	0.00	16	7
	3040	SPIT FIRE		岩崎 正幸	NAK295	5	22.11	0.7302	08/01.16:46' 07	01.05:46' 07	00.21:44' 13	0.00	50	8
	3255	SUPER LUCY		長谷川 富延	YOK31N	5	22.53	0.7347	08/01.16:38' 54	01.05:38' 54	00.21:46' 57	0.00	37	9
	1155	一乗 3	小網代	青山 恒昌	YOK31N	5	22.44	0.7337	08/01.16:41' 51	01.05:41' 51	00.21:47' 20	0.00	45	10
	3333	TABATHA 3	シーボニア	久保田 茂	YOK31	5	22.44	0.7337	08/01.16:42' 59	01.05:42' 59	00.21:48' 10	0.00	46	11
	3700	BOOMERANG	東海	加藤 強	YOK32S	3	22.97	0.7393	08/01.16:30' 20	01.05:30' 20	00.21:48' 48	0.00	18	12
	3699	NOVA	シーボニア	植原 俊雄	HAY－30	5	22.94	0.7390	08/01.16:33' 45	01.05:33' 45	00.21:50' 48	0.00	27	13
	2765	OCEANID		吉田 節美	YOK31N	3	23.01	0.7397	08/01.16:32' 27	01.05:32' 27	00.21:51' 04	0.00	25	14
	3670	再見	横浜	高橋 伸博	K－30R	5	22.53	0.7347	08/01.16:44' 41	01.05:44' 41	00.21:51' 12	0.00	49	15
	3228	FIDELIA 2	西宮	船越 crew	YOK32	5	22.69	0.7363	08/01.16:41' 14	01.05:41' 14	00.21:51' 31	0.00	43	16
	3706	長良	東海	矢野 敏邦	YOK32	5	22.89	0.7384	08/01.16:40' 52	01.05:40' 52	00.21:54' 59	0.00	41	17
	3518	は組	小網代	野口 隆司	YAM30R	5	22.67	0.7361	08/01.16:46' 42	01.05:46' 42	00.21:55' 11	0.00	51	18
	3525	FLAWLESS		鬼頭 洋二	YOK33	3	24.49	0.7549	08/01.16:07' 47	01.05:07' 47	00.21:59' 24	0.00	6	19
△	3386	SUPER ESUMERALDA	駿河	天野 則英	YOK31N	5	22.39	0.7332	08/01.17:02' 49	01.06:02' 49	00.22:01' 49	0.00	53	20
△	3225	NARUMI 6		竹内 靖	YOK31	3	22.53	0.7347	08/01.17:02' 25	01.06:02' 25	00.22:04' 14	0.00	52	21
	3256	AYA 3		中根 康雅	YOK31	3	22.35	0.7328	08/01.17:09' 40	01.06:09' 40	00.22:06' 07	0.00	55	22
	1195	FRONT RUNNER		D.LINDAHL	X－3/4	5	24.55	0.7555	08/01.16:18' 13	01.05:18' 13	00.22:08' 19	0.00	8	23
	3357	SPICA 3		室井 誠	YAM30R	3	22.45	0.7338	08/01.17:11' 37	01.06:11' 37	00.22:09' 21	0.00	56	24
	3044	MRS. MEDAUSAE 5	油壺	木原 和嘉	TAK33	3	24.14	0.7513	08/01.16:31' 35	01.05:31' 35	00.22:10' 59	0.00	22	25
	3439	RAFALE		森 章	YOK31N	5	22.75	0.7370	08/01.17:08' 49	01.06:08' 49	00.22:13' 05	0.00	54	26
	1190	HELIOS		宮崎 順吉	PION10	3	21.34	0.7220	08/01.17:49' 00	01.06:49' 00	00.22:14' 58	0.00	60	27
	2263	DISCO DORI	油壺	H.SCHRODER	DB2/34	3	24.55	0.7555	08/01.16:27' 44	01.05:27' 44	00.22:15' 31	0.00	14	28
	3006	BORN FREE 3	沼津	佐藤 泰一郎	NAK 34	3	24.48	0.7548	08/01.16:29' 33	01.05:29' 33	00.22:15' 39	0.00	17	29
	3595	JUDAS PRIEST		結城 良道	YAM30S	3	22.34	0.7327	08/01.17:24' 22	01.06:24' 22	00.22:16' 42	0.00	57	30
	3530	SUMMER KNOWS	油壺	高村 宏	TAK34	3	24.75	0.7575	08/01.16:25' 49	01.05:25' 49	00.22:17' 36	0.00	12	31
△	3018	DONKEY-GALE		内藤 恒夫	YAM34	3	24.68	0.7568	08/01.16:30' 59	01.05:30' 59	00.22:20' 16	0.00	20	32
	3130	一寸法師		土手 秀三	YAM34	5	24.61	0.7561	08/01.16:34' 56	01.05:34' 56	00.22:22' 01	0.00	30	33
	3562	CORRENTE NERA	沼津	高尾 和秀	OP101	3	24.42	0.7542	08/01.16:39' 25	01.05:39' 25	00.22:22' 02	0.00	38	34
	3121	桃太郎	東海	岡山 弘	NAM34B	5	24.51	0.7551	08/01.16:40' 39	01.05:40' 39	00.22:24' 34	0.00	40	35
	3606	BOY	シーボニア	山田 隆	YAM34R	3	25.07	0.7624	08/01.16:42' 37	01.05:32' 37	00.22:31' 26	0.00	26	36
	2845	TOMOERIKA 5		杉浦 義利	TAK30C	5	22.61	0.7355	08/01.17:47' 03	01.06:47' 03	00.22:38' 30	0.00	58	37
	3279	SACHI 3		福原 幸洋	YAM34R	1	25.44	0.7644	08/01.16:37' 25	01.05:37' 25	00.22:38' 39	0.00	32	38
	2677	GREAT PEOPLE	江の島	藤野 真子	YOK31N	5	22.76	0.7371	08/01.17:49' 30	01.06:49' 30	00.22:43' 15	0.00	61	39
	3575	かぐや姫	油壺	初鹿野 幸生	YOK32M	3	23.20	0.7417	08/01.17:47' 18	01.06:47' 18	00.22:50' 08	0.00	59	40
	3414	OTSHOSAN	江の島	井上 一典	YOK－32	3	22.93	0.7389	08/01.18:20' 07	01.07:20' 07	00.23:09' 13	0.00	63	41
	2211	CARINO	西宮	古川 浩二	YOK40	1	20.50	0.8123	08/01.15:34' 07	01.04:34' 07	00.23:12' 22	0.00	2	42
	1960	HIPPO	油壺	殿井 宏志	HOL30	5	20.89	0.7171	08/01.19:25' 19	01.08:25' 19	00.23:14' 59	0.00	65	43
	3635	GOLDEN FLEECE 3	諸磯	芝田 鉄夫	YOK 28	3	22.97	0.7393	08/01.18:27' 13	01.07:27' 13	00.23:15' 13	0.00	64	44
	3311	SEA HAIL	浦安	岡田 興一	TAK38	3	28.84	0.7970	08/01.16:22' 55	01.05:22' 55	00.23:25' 02	0.00	9	45
	2228	銀河 7		南 良治	YOK 39	1	20.61	0.8133	08/01.15:55' 06	01.04:55' 06	00.23:31' 09	0.00	3	46
	3370	ELECTRON	葉山	小高 敏夫	YAM39	3	29.29	0.8012	08/01.16:24' 28	01.05:24' 28	00.23:33' 41	0.00	11	47
△	3660	青海波	油壺	清田 博	X－1	1	20.67	0.8138	08/01.16:03' 54	01.05:03' 54	00.23:39' 11	0.00	5	48
	120	どんがめ 8	小網代	渡辺 修治	WAT 36	3	29.56	0.8037	08/01.16:31' 57	01.05:31' 57	00.23:44' 06	0.00	23	49
	3070	ZERO	シーボニア	津村 重孝	FRE 52	1	41.16	0.9016	08/01.13:29' 09	01.02:29' 09	00.23:52' 46	0.00	1	50

No. 2

	SAIL	艇名	フリート	オーナー名	TYPE	CL	Rft	T.C.F.	フィニッシュ時間	所要時間	修正時間	PN(%)	着順	順位
△	2611	MAPLE	横浜	橋本　博	YOK40	1	29.98	0.8075	08/01.16:41'10	01.05:41'10	00.23:58'17	0.00	42	51
△	1777	CAZA 7	西宮	深見裕二	TAK41	1	30.65	0.8136	08/01.16:28'28	01.05:28'28	00.23:58'49	0.00	15	52
△	3695	LIBERTE	玄海	川村安正	F C 12	1	30.52	0.8124	08/01.16:39'40	01.05:39'40	01.00:05'48	0.00	39	53
	3355	青風 5	江の島	斎藤昌邦	YOK40	1	30.56	0.8128	08/01.16:41'17	01.05:41'17	01.00:07'49	0.00	44	54
⚠	3705	MATENROW	シーボニア	杉山直行	YOK40	1	30.84	0.8153	08/01.16:38'51	01.05:38'51	01.00:10'17	0.00	36	55
	355	SLEEPER	油壺	武部喜一	N/M 42	1	32.80	0.8327	08/01.16:02'44	01.05:02'44	01.00:11'10	0.00	4	56
	2210	CARRERA	東海	渡辺行彦	HOL40	1	31.41	0.8204	08/01.16:33'48	01.05:33'48	01.00:15'13	0.00	28	57
△	3544	BLUE NOTE	江の島	五十井　進	ITO40	1	31.41	0.8204	08/01.16:36'11	01.05:36'11	01.00:17'10	0.00	31	58
△	3335	織姫	油壺	古川保夫	FRE40	1	31.46	0.8209	08/01.16:44'07	01.05:44'07	01.00:24'34	0.00	48	59
	2558	酒　雪		神吉勝宏	DOU43	1	32.21	0.8275	08/01.16:30'36	01.05:30'36	01.00:25'10	0.00	19	60
	188	CONTESSA	油壺	石原慎太郎	DOU42	1	22.42	0.8294	08/01.16:31'16	01.05:31'16	01.00:29'05	0.00	21	61
△	2455	MARGE	清水	柴田邦敏	DOU42	1	32.38	0.8290	08/01.16:37'38	01.05:37'38	01.00:33'39	0.00	33	62
	3600	VIND 7	東海	小林義彦	TAK42	1	32.52	0.8303	08/01.16:38'34	01.05:38'34	01.00:36'44	0.00	35	63
	2112	FUJI 3	油壺	藤本達雄	FRE45	1	36.99	0.8682	08/01.16:27'04	01.05:27'04	01.01:34'10	0.00	13	64
△	3339	風見鶏	浦安	榊　政寛	TAK43	1	40.58	0.8970	08/01.16:38'22	01.05:38'22	01.02:35'11	0.00	34	65
	3240	LALA	東海	山崎　進	V&O45	1	34.64	0.8486	08/01.20:20'54	01.05:20'54	01.04:17'57	0.00	66	66
	2000	月光 5	油壺	並木茂士	FRE 41	1	31.00	0.8168	DNC			0.00		
	2312	NACHI 8	衣浦	二村昭治	DOU42	1	32.09	0.8265	DNC			0.00		
	3215	SEA LION	芦名	西田隆太郎	HIT42	1	31.18	0.8184	DNC			0.00		
	3519	LAVIEEN ROSE	シーボニア	沢野裕治	J−41	1	30.20	0.8095	DNC			0.00		
	3771	EXADOR		小林正和	FAR 40	1	30.24	0.8099	DNC			0.00		
	389	NADJA 6	小網代	白崎謙太郎	TAK 39	3	29.20	0.8004	DNC			0.00		
	667	KAY SEVEN	シーボニア	栗林定友		3	29.16	0.8000	DNC			0.00		
	2220	慎記郎	油壺	蝶野春太郎	CAS 37	3	27.48	0.7842	DNC			0.00		
	3001	HALF TIME	シーボニア	田沼英明	YOK−35	3	26.04	0.7703	DNC			0.00		
	1985	波勝		高野敏男	S K 32	3	23.22	0.7419	DNC			0.00		
	2182	ケロニア	小網代	大谷正彦	YOK33	3	24.23	0.7522	DNC			0.00		
	2422	青葉	横浜	福田義一	Y−34R	3	24.50	0.7550	D C			0.00		
	3002	SYLPHIDES 5	シーボニア	蒲谷和行	YOK32	3	23.00	0.7396	DNC			0.00		
	3351	BIG SHOT	横浜	赤井徳夫	OKA33	3	23.37	0.7434	DNC			0.00		
	3515	辻楼羅	沼津	矢島泰淳	X−3/4	3	24.70	0.7570	DNC			0.00		
	3531	陽炎	諸磯	川久保史郎	YOK32M	3	23.12	0.7408	DNC			0.00		
	3577	都風	油壺	中村文彦	DOU 33	3	23.08	0.7404	DNC			0.00		
	210	QUERIDA 3		浅見和也	HIT31	5	22.59	0.7353	DNC			0.00		
	1659	HASTAMANANA		杉本幸夫	TAK 30	5	22.40	0.7333	DNC			0.00		
	2923	ZORRA		藤谷有司	DOU30	5	22.36	0.7329	DNC			0.00		
	3037	MEGU 5		竹内保史	YOK31	5	22.14	0.7305	DNC			0.00		
	3043	MER AMI	沼津	林　正幸	YAM30S	5	22.09	0.7300	DNC			0.00		
	3306	RIPPLE 2	油壺	硲　俊弘	YOK31	5	22.34	0.7327	DNC			0.00		
	3373	AFRODITA	シーボニア	菅野　道	YOK28	5	21.77	0.7266	DNC			0.00		
	3426	DANCE OF MAGIC		原田八郎	TAK30	5	21.99	0.7289	DNC			0.00		
	3501	SUNN BLUME		戸田　宏	YOK−31	5	22.60	0.7354	DNC			0.00		

△：出艇申造遅延１時間以内及び事類不備――フィニッシュ時間に10分のペナルティを加算する

⚠：出艇申告遅延１時間以上及び書類不備――フィニッシュ時間に10分のペナルティを加算する

	SAIL	艇名	フリート	オーナー名	TYPE	CL	Rft	T.C.F.	フィニッシュ時間	所要時間	修正時間	PN(%)	着順	順位
クラスI〜II	2211	CARINO	西宮	古川　浩二	YOK40	1	30.50	0.8123	08/01.15:34′07	01.04:34′07	00.23:12′22	0.00	2	1
	2228	銀河 7		南　良治	YOK39	1	30.61	0.8133	08/01.15:55′06	01.04:55′06	00.23:31′09	0.00	3	2
△	3660	青海波	油壺	清田　博	X-1	1	30.67	0.8138	08/01.16:03′54	01.05:03′54	00.23:39′11	0.00	5	3
	3070	ZERO	シーボニア	津村　重孝	FRE52	1	41.16	0.9016	08/01.13:29′09	01.02:20′09	00.23:52′46	0.00	1	4
△	2611	MAPLE	横浜	橋本　博	YOK40	1	29.98	0.8075	08/01.16:41′10	01.05:41′10	00.23:58′17	0.00	42	5
△	1777	CAZA 7	西宮	深見　裕二	TAK41	1	30.65	0.8137	08/01.16:28′28	01.05:28′28	00.23:58′49	0.00	15	6
△	3695	LIBERTE	玄海	川村　安正	FC 12	1	30.52	0.8124	08/01.16:39′40	01.05:39′40	01.00:05′48	0.00	39	7
	3355	青風 5	江の島	斎藤　昌邦	YOK40	1	30.56	0.8128	08/01.16:41′17	01.05:41′17	01.00:07′49	0.00	44	8
△	3705	MATENROW	シーボニア	杉山　直行	YOK40	1	30.84	0.8153	08/01.16:38′51	01.05:38′51	01.00:10′17	0.00	36	9
	355	SLEEPER	油壺	武部　喜一	N/M42	1	32.80	0.8327	08/01.16:02′44	01.05:02′44	01.00:11′10	0.00	4	10
△	2210	CARRERA	東海	渡辺　行彦	HOL40	1	31.41	0.8204	08/01.16:33′48	01.05:33′48	01.00:15′13	0.00	28	11
△	3544	BLUE NOTE	江の島	五十井　進	ITO40	1	31.41	0.8204	08/01.16:36′11	01.05:36′11	01.00:17′10	0.00	31	12
	3335	織姫	油壺	古川　保夫	FRE40	1	31.46	0.8209	08/01.16:44′07	01.05:44′07	01.00:24′34	0.00	48	13
	2558	酒雪		神吉　勝宏	DOU43	1	32.21	0.8275	08/01.16:30′36	01.05:30′36	01.00:25′10	0.00	19	14
△	188	CONTESSA	油壺	石原　慎太郎	DOU42	1	32.42	0.8294	08/01.16:31′16	01.05:31′16	01.00:29′05	0.00	21	15
	2455	MARGE	清水	柴田　邦敏	DOU42	1	32.38	0.8290	08/01.16:37′38	01.05:37′38	01.00:33′39	0.00	33	16
△	3600	VIND 7	東海	小林　義彦	TAK42	1	32.52	0.8303	08/01.16:38′34	01.05:38′34	01.00:36′44	0.00	35	17
	2112	FUJI 3	油壺	藤本　達雄	FRE45	1	36.99	0.8682	08/01.16:27′04	01.05:27′04	01.01:34′10	0.00	13	18
	3339	風見鶏	浦安	榊　政寛	TAK43	1	40.58	0.8970	08/01.16:38′22	01.05:38′22	01.02:35′11	0.00	34	19
	3240	LALA	東海	山崎　進	V&O45	1	34.64	0.8486	08/01.20:20′54	01.09:20′54	01.04:17′57	0.00	66	20
	2000	月光 5	油壺	並木　茂士	FRE41	1	31.00	0.8168	DNC			0.00		
	2312	NACHI 8	衣浦	二村昭昭治	DOU42	1	32.09	0.8265	DNC			0.00		
	3215	SEA LION	芦名	西田　隆太郎	HIT42	1	31.18	0.8184	DNC			0.00		
	3519	LAVIEEN ROSE	シーボニア	沢野　裕治	J-41	1	30.20	0.8095	DNC			0.00		
	3771	EXADOR		小林　正和	FAR40	1	30.24	0.8099	DNC			0.00		
クラスIII〜IV	3700	BOOMERANG	東海	加藤　強	YOK32S	3	22.97	0.7393	08/01.16:30′20	01.05:30′20	00.21:48′48	0.00	18	1
	2765	OCEANID		吉田　節美	YOK31N	3	23.01	0.7397	08/01.16:32′27	01.05:32′27	00.21:51′04	0.00	25	2
	3525	FLAWLESS		鬼頭　洋二	YOK33	3	24.49	0.7549	08/01.16:07′47	01.05:07′47	00.21:59′24	0.00	6	3
	1195	FRONT RUNNER		D.LINDAHL	X-3/4	3	24.55	0.7555	08/01.16:18′13	01.05:18′13	00.22:08′19	0.00	8	4
	3044	MRS.MEDAUSAE 5	油壺	木原　和嘉	TAK33	3	24.14	0.7513	08/01.16:31′35	01.05:31′35	00.22:10′59	0.00	22	5
	2263	DISCO DORI	油壺	H.SCHRODER	DB2/34	3	24.55	0.7555	08/01.16:27′44	01.05:27′44	00.22:15′31	0.00	14	6
	3006	BORN FREE 3	沼津	佐藤　泰一郎	NAK34	3	24.48	0.7548	08/01.16:29′33	01.05:29′33	00.22:15′39	0.00	17	7
	3530	SUMMER KNWS	油壺	高村　宏	TAK34	3	24.75	0.7575	08/01.16:25′49	01.05:25′49	00.22:17′36	0.00	12	8
△	3018	DOKEY-GALE		内藤　恒夫	YAM34	3	24.68	0.7568	08/01.16:30′59	01.05:30′59	00.22:20′16	0.00	20	9
	3130	一寸法師		土手　秀三	YAM34	3	24.61	0.7561	08/01.16:34′56	01.05:34′56	00.22:22′01	0.00	30	10
	3562	CORRENTE NERA	沼津	高尾　和秀	ORT101	3	24.42	0.7542	08/01.16:39′25	01.05:39′25	00.22:22′02	0.00	38	11
	3121	桃太郎	東海	岡山　弘	NAM34B	3	24.51	0.7551	08/01.16:40′39	01.05:40′39	00.22:24′34	0.00	40	12
	3606	BOY	シーボニア	山田　隆	YAM34R	3	25.07	0.7624	08/01.16:32′37	01.05:32′37	00.22:31′26	0.00	26	13
	3279	SACHI 3		福原　幸洋	YAM34R	3	25.44	0.7644	08/01.16:37′25	01.05:37′25	00.22:38′39	0.00	32	14
	3575	かぐや姫	油壺	初鹿野　幸生	YOK32M	3	23.20	0.7417	08/01.17:47′18	01.06:47′18	00.22:50′08	0.00	59	15
	3635	GOLDEN FLEECE 3	諸磯	芝田　鉄夫	YOK38	3	22.97	0.7393	08/01.18:27′13	01.07:27′13	00.23:15′13	0.00	64	16
	3311	SEA HAIL	浦安	岡田　興一	TAK38	3	28.84	0.7970	08/01.16:22′55	01.05:22′55	00.23:25′02	0.00	9	17
	3360	ELECTRON	葉山	小高　敏夫	YAM39	3	29.29	0.8012	08/01.16:24′28	01.05:24′28	00.23:43′41	0.00	11	18
	120	どんがめ 8	小網代	渡辺　修治	WAT36	3	29.56	0.8037	08/01.16:31′57	01.05:31′57	00.23:44′06	0.00	23	19
	389	NADJA 6	小網代	白崎　謙太郎	TAK39	3	29.20	0.8004	DNC			0.00		
	667	KAY SEVEN	シーボニア	栗林　定友		3	29.16	0.8000	DNC			0.00		
	2220	慎記郎	油壺	蝶野　春太郎	CAS37	3	27.48	0.7842	DNC			0.00		
	3004	HALF TIME	シーボニア	田沼　英明	YOK-35	3	26.04	0.7703	DNC			0.00		
	1985	波勝		高野　敏男	SK32	3	23.22	0.7419	DNC			0.00		
	2182	ケロニア	小網代	大谷　正彦	YOK33	3	24.23	0.7522	DNC			0.00		

No. 4

	SAIL	艇名	フリート	オーナー名	TYPE	CL	Rft	T.C.F.	フィニッシュ時間	所要時間	修正時間	PN(%)	着順	順位
	2422	青葉	横浜	福田義一	Y−34R	3	24.50	0.7550	DNC			0.00		
	3002	SYLPHIDES 5	シーボニア	蒲谷和行	YOK32	3	23.00	0.7396	DNC			0.00		
	3351	BIG SHOT	横浜	赤井徳夫	OKA33	3	23.37	0.7434	DNC			0.00		
	3515	辷楼羅	沼津	矢島泰淳	X-3/4	3	24.70	0.7570	DNC			0.00		
	3531	陽炎	諸磯	川久保史郎	YOK32M	3	23.12	0.7408	DNC			0.00		
	3577	都風	油壺	中村文彦	DOU 33	3	23.08	0.7404	DNC			0.00		
	2500	HORIZON 5		頓瀬愛彦	YOK31	5	22.46	0.7339	08/01.16:16′28	01.05:16′28	00.21:29′04	0.00	7	1
	3571	CROW		高井理	TAK26	5	19.02	0.6961	08/01.17:52′09	01.06:52′09	00.21:29′16	0.00	62	2
	3387	BASIC	シーボニア	小板橋博行	YOK28	5	21.59	0.7247	08/01.16:43′26	01.05:43′26	00.21:32′27	0.00	47	3
	3344	SUPER WAVE	東海	長坂収	YAM30R	5	22.69	0.7363	08/01.16:23′30	01.05:23′30	00.21:38′27	0.00	10	4
	3485	ISIS	シーボニア	北中壮彦	YAM30R	5	22.48	0.7341	08/01.16:32′21	01.05:32′21	00.21:41′04	0.00	24	5
	3203	VIVACE		福本金生	YOK31	5	22.41	0.7334	08/01.16:34′30	01.05:34′30	00.21:41′25	0.00	29	6
△	3494	ARC-EN-CIEL 2	シーボニア	福田祐一郎	YOK30N	5	22.66	0.7360	08/01.16:29′10	01.05:29′10	00.21:42′06	0.00	16	7
	3040	SPIT FIRE		岩崎正幸	NAK295	5	22.11	0.7302	08/01.16:46′07	01.05:46′07	00.21:44′13	0.00	50	8
	3255	SUPER LUCY		長谷川富延	YOK31N	5	22.53	0.7347	08/01.16:38′54	01.05:38′54	00.21:46′57	0.00	37	9
	1155	一乗 3	小網代	青山恒昌	YOK31N	5	22.44	0.7337	08/01.16:41′51	01.05:41′51	00.21:47′20	0.00	45	10
	3333	TABATHA 3	シーボニア	久保田茂	YOK31	5	22.44	0.7337	08/01.16:42′59	01.05:42′59	00.21:48′10	0.00	46	11
	3699	NOVA	シーボニア	植原俊雄	HAY−30	5	22.94	0.7390	08/01.16:33′45	01.05:33′45	00.21:50′48	0.00	27	12
	3670	再見	横浜	高橋伸博	K−30R	5	22.53	0.7347	08/01.16:44′41	01.05:44′41	00.21:51′12	0.00	49	13
	3228	FIDELIA 2	西宮	船越鏧	YOK32	5	22.69	0.7363	08/01.16:41′14	01.05:41′14	00.21:51′31	0.00	43	14
	3706	長良	東海	矢野敏邦	YOK32	5	22.89	0.7384	08/01.16:40′52	01.05:40′52	00.21:54′59	0.00	41	15
	3518	は組	小網代	野口隆司	YAM30R	5	22.67	0.7361	08/01.16:46′42	01.05:46′42	00.21:55′11	0.00	51	16
	3386	SUPER ESUMERALDA	駿河	天野則英	YOK31N	5	22.39	0.7332	08/01.17:02′49	01.06:02′49	00.22:01′49	0.00	53	17
	3225	NARMI 6		竹内靖	YOK31	5	22.53	0.7347	08/01.17:02′25	01.06:02′25	00.22:04′14	0.00	52	18
	3256	AYA 3		中根康雅	YOK31	5	22.35	0.7328	08/01.17:09′40	01.06:09′40	00.22:06′07	0.00	55	19
	3357	SPICA 3		室井誠	YAM30R	5	22.45	0.7338	08/01.17:11′37	01.06:11′37	00.22:09′21	0.00	56	20
△	3439	RAFALE		森章	YOK31N	5	22.75	0.7370	08/01.17:08′49	01.06:08′49	00.22:13′05	0.00	54	21
△	1190	HELIOS		宮崎順吉	PION10	5	21.34	0.7220	08/01.17:49′00	01.06:49′00	00.22:14′58	0.00	60	22
	3595	JUDAS PRIEST		結城良道	YAM30S	5	22.34	0.7327	08/01.17:24′22	01.06:24′22	00.22:16′42	0.00	57	23
	2845	TOMOERIKA 5		杉浦義利	TAK30C	5	22.61	0.7355	08/01.17:47′03	01.06:47′03	00.22:38′30	0.00	58	24
	2677	GREAT PEOPLE	江の島	藤野真子	YOK31N	5	22.76	0.7371	08/01.17:40′30	01.06:49′30	00.22:43′15	0.00	61	25
	3414	OTSHOSAN	江の島	井上一典	YOK−32	5	22.93	0.7389	08/01.18:20′07	01.07:20′07	00.23:09′13	0.00	63	26
	1960	HIPPO	油壺	殿井宏志	HOL30	5	20.89	0.7171	08/01.19:25′19	01.08:25′19	00.23:14′59	0.00	65	27
	210	QUERIDA 3		浅見和也	HIT31	5	22.59	0.7353	DNC			0.00		
	1659	HASTAMANANA		杉本幸夫	TAK 30	5	22.40	0.7333	DNC			0.00		
	2923	ZORRA		藤谷有司	DOU30	5	22.36	0.7329	DNC			0.00		
	3037	MEGU 5		竹内保史	YOK31	5	22.14	0.7305	DNC			0.00		
	3043	MER AMI	沼津	林正幸	YAM30S	5	22.09	0.7300	DNC			0.00		
	3306	RIPPLE 2	油壺	硲俊弘	YOK31	5	22.34	0.7327	DNC			0.00		
	3373	AFRODITA	シーボニア	菅野道	YOK28	5	21.77	0.7266	DNC			0.00		
	3426	DANCE OF MAGIC		原田八郎	TAK30	5	21.99	0.7289	DNC			0.00		
	3501	SUNN BLUME		戸田宏	YOK−313	5	22.60	0.7354	DNC			0.00		

△：
▲：｝総合順位成績表に同じ

石原裕次郎メモリアル

ヨットレース開催のお知らせ

湘南の海に裕次郎さんを偲んで ヨットマンが集います

海を愛し，ヨットを愛した，石原裕次郎さん。
我々の偉大な先輩であり仲間であった裕次郎さん。
石原さんは，我々にとって，とてつもない大きい存在でありました。
石原さんほど，湘南の海を愛し，ヨットを愛した人はいません。
石原裕次郎という存在に，我々は大いなる連帯を感じていたといっても過言ではありません。
日本ではじめて開催されたクォータートンヨット世界選手権大会における強力なリーダーシップ，伊豆の島を回る外洋レース，アドミラルズカップレースをはじめとする数々の国際ヨットレースにおける勇姿などなど，石原さんへの思い出はつきることがありません。

石原さんが亡くなって半月がたちます。

日本外洋帆走協会（会長　石原慎太郎）では，これまで石原裕次郎さんに世話になったヨットマン達が発起人になり，来たる8月30日(日)石原裕次郎さん追悼のメモリアル　ヨットレースを開催することを決定しました。

湘南のヨットマンに広く声をかけ皆で裕次郎さんゆかりの海を帆走り追悼の意を表したいと思います。

当日は，多くの外洋ヨットが弔意を表わす黒リボンを艇尾にかかげ，油壺沖に集結，10時の時報を合図にスタート，裕次郎さんが青春を過した葉山の海に向ってヨットレースを展開します。レースのコースは油壺→江の島沖マーク→葉山沖フィニッシュを予定しています。

当会会長　石原慎太郎がオーナースキッパーをつとめる〈コンテッサ8世〉（42フィート）は裕次郎さんとともにレースを戦ってきたコンテッサ軍団の名だたるクルーが乗り組みこのレースに参加します。レース優勝艇には石原裕次郎カップが贈られます。

日本外洋帆走協会では，このレースを今後同じ時期にメモリアルレースとして定例開催していく方針です。

日本の外洋ヨット界では個人の名前を冠したメモリアルレース自体初めてのことで，石原裕次郎さんの存在がいかに大きかったかがうかがえます。

レースフィニッシュ後，参加艇は13時頃葉山森戸海岸沖に集合し，〈コンテッサ8世〉の前を一列に並び帆走行進します。コンテッサ船上から石原慎太郎艇長が石原裕次郎さんの遺影を海に捧げる追悼の式もおこなわれます。〈コンテッサ8世〉前を通過するヨットから弔意の号笛が長く鳴りひびきます。

海上追悼式のあと参加艇は母港に戻り，18時より油壺湾に隣接するシーボニアヨットハーバーのプールサイドにて参加者全員出席の追悼会を開催します（司会・進行役はヨットマンとして著名なNHKニュースキャスター木村太郎さんがつとめます）。この追悼会は石原裕次郎さんにふさわしく，楽しく，にぎやかに，酒をのみかわし，石原さんの思い出を語り合う場にします。

石原プロモーションのメンバーの方々をはじめ，裕次郎さんと親しかった海と縁の深い俳優，タレントの方々が大勢様お見えになる予定になっております。

秋近い油壺，遠方ではございますが，ご取材賜わりますようご案内申し上げます。

催　事　名：「石原裕次郎メモリアルヨットレース&追悼会」
主　　　催：社団法人　日本外洋帆走協会（N. O. R. C.）
実行委員長：清水栄太郎（N. O. R. C. 専務理事）

帆走委員長：福吉　信雄
同副委員長：宮坂　敬二
スケジュール：8月30日(日)
10：00　油壺沖スタート
12：30頃　葉山沖フィニッシュ
13：00頃　葉山沖にて海上追悼式
18：00　追悼会
（シーボニア　ヨット　ハーバー　プールサイド）
20：00　終　了
ご取材の便宜：　レースおよび〈コンテッサ8世〉海上追悼式取材のためのプレスボートを用意いたします。乗船ご希望社は準備の都合がございますので8月20日(木)までに下記あて乗船人数様などご連絡下さい。
事前申込みの無い場合は乗船不可となりますので，ご承知置き下さい。
陸上広報本部：　当日はシーボニアヨットハーバー内に報道受付を設置いたしますので，お立寄り下さい。(09：30〜20：00)
●シーボニア　ヨット　ハーバー
神奈川県三浦市三崎町小網代1286
TEL 0468(82)1212(代)

事前プレスボート受付およびお問い合わせ窓口
日本外洋帆走協会
関東支部 広報委員長　浅 野　英 武
勤務先　TEL (403)0281(代)
(479)3873(直)
FAX (403)0289
日本外洋帆走協会
TEL (504)1911(代)

YAMAHA OSAKA CUP '87
公 式 記 録 集

メルボルン—大阪。初めての太平洋縦断ダブルハンドヨットレース。エントリー数90艇，出場艇64。世界最大規模のヨットのすべてを記録した豪華写真集です。

A 4 判266頁オールカラー—9,800円

◎公式記録集の内容
◇レースの劇的シーンを残さず記録します。
◇参加艇のすべてを紹介。
◇アルゴスシステムのデータによるていねいなレース解説。
◇参加艇全艇の航跡と所要時間が一目でわかる表示。
◇レースに関するあらゆる数字を記録（YOC ギネス)。
◇オフィシャルサプライ，支援団体等レースにたずさわった機関と人を記録。
◇レースの主催者による初めての公式記録集です。◇本書は日英両訳です。
◇NORC の会員の方には特別割引があります。

監　修／NORC　　著者／YOC'87推進協議会

角川書店　'87年9月刊行

申し込み先／バラエティブッククラブ
〒102 東京都千代田区富士見1-12-14 ☎03(234)5441〜3

ミキモトジャパンカップ1987　へのお誘い

開催期日

9月11日(金)　インスペクション
12日(土)　第1レース 10：00　歓迎パーティ
13日(日)　第二レース 10：00
14日(月)　第三レース 10：00
ショートオフショアオープンレース
18日(金)　予備日
19日(土)　第四レース 10：00　親睦パーティ
20日(日)　第五レース 10：00
ロングオフショアオープンレース

参加資格

I.O.R　21 ft 以上　70 ft 以下
ORC 3　NORC B　オープンレースは JOR も可

参加費

クラスⅠ…7万円　クラスⅡ…5万円
クラスⅢ…5万円　クラスⅥ…4万円
クラスⅤ…3万円　オープンレースは各1万円

エントリー締切日……9月4日(金)17：00　NORC

説明会……8月22日(土)16：00～18：00
参加，非参加に関わらず御気軽に御参加下さい。

同会場……銀座ミキモト6階

詳細は NORC 事務局迄問合せ下さい

お帰りなさい〈貿易風〉！

玄海支部　片倉静江

世界一周おめでとう！　6年9ヵ月ぶりですね。1980年10月10日，唐泊（博多湾内）を出港したのも昨日の様な気がします。「岸壁のオッカサン」や，あんちゃん達は待ちくたびれてましたぞ。メキシコのカンクンからの年賀状と，ガラパゴスからの絵葉書ありがとう。どちらも珍らしい切手で早速収集家の友人にあげましたら，すっごく喜んでいました。彼女は〈貿易風〉が通った国々全部の切手を持っている訳で，収集家としてのその喜びおわかり頂けると思います。改めてたくさんの切手送って下さってダンケシェーン…じゃなかった，グラツィエですね。

福岡のヨットで世界一周したのは，北九州市の大平雄三・さちこ御夫妻の〈さちかぜ〉（1975年―1977年）以来です。全国で何艇になりますか？　つまりぐるっと地球をまわったヨットです。チョウチョウ魚を探しに行って，プッチーニの国から蝶々夫人を連れて帰国するなんて，ちょっとしたら「あんた，落研出身かな？」。子分のイナビカリ（稲光良寛氏）とイワテケン（浅見　健氏）が一緒でなかったのは残念ですが，まあ，ヨカデスタイ。長い長い六年間いろいろあったでしょう。無理もない事，何も聞きますまい。とにかく，とにかくですよ，地球を一周して無事帰国した…それで充分です。素晴らしいです。ゲーテさんがおっしゃっているじゃないですか？

「人生はすべて次の二つから成り立っている。
したいけれど　出来ない，
出来るけれど　したくない。」

私達の支援グループは出港後三年目の11月に解散し，その後はお友達の後藤啓三氏グループにバトンタッチしました。博多入港前，いろいろな準備に走りまわっていましたが，いい友達に恵まれて幸せですね。

そちらが世界一周している間，私はたった110マイルの朝鮮海峡を4往復，狭い玄界灘をウロチョロ，鳥羽まで〈ジグザグ〉を回航したり佐世保レースに出場したり…。マイルを加算し，一寸おまけをつけてもわずか2000マイルです。世界一周とは言いませんが，せめて南太平洋あたり迄は行ってみたいですね。

「日本の住所がわからないので渡して下さい」と，去年の二月頃でしたかヨハネスブルグのヨットマン，ビーム御夫妻から八つ切りの写真を頂きました。エジプトのウルガーダカと裏面にありましたので，1983年5月になります。「まだ帰国しておりません。多分今頃はパナマでしょう」と伝えましたらすぐ返事がきて「てっきり帰国しているものと思いました。まだパナマ？」とびっくりしていましたっけ。

会社の個人ロッカーに預かっていた200枚余りのスライド類，たしかに後藤氏宅へ送り届けました。スライドをアルバムに整理しながら見せて頂きましたがため息が出る様な美しさですね。じっと見つめていると，画中の小さな魚がチラッとこちらを見た様な気がする位透明で美しい海ばかりですね。

唐泊入港の写真が間に合わず残念です。そのうちに楽しいお話，恐ろしかったお話等聞かせて下さい。6年9ヵ月かかるって？　気にしない、気にしない。たった6年、あっという間に過ぎたじゃないですか？ゆっくりお休み下さい。そして日本語ももう一度ブラッシュ　アップした方がいいですよ。

NORC協会ニュース

第102回　理事会議事録

社団法人　日本外洋帆走協会

１．日　時　昭和62年６月13日(土)14：00～17：30
２．場　所　東京都港区虎ノ門1-15-16
船舶振興ビル10Ｆ　第１会議室
３．出席者　32名（うち理事26名）
理　事（出席17名）
石原慎太郎・大儀見薫・清水栄太郎・久保和男・朝河　清・清田　博・児玉萬平・篠原　要・林賢之助・宮坂敬三・柴田邦敏・都築勝利・矢野敏邦・三井祥功・松本　哲・山田東吾・末松　明
（委任状９名）
秋田博正・石井正行・今岡又彦・山崎達光・林　政幸・川端治夫・秋山福夫・平岡英信・城間祥行
理事以外（６名）
（顧問会議長）平松栄一
（北海道支部長）船木幹也
（泊地対策委員長）平野喜美夫
（西内海支部）金井準一
（関東支部）木村太郎
（事務局長）歌田道敬
４．議　題
(1)アメリカズ・カップチャレンジの推移について
(2)ニッポンカップ国際ヨットマッチレースについて
(3)JYA（日本ヨット協会）の大型艇問題について
(4)メルボルン・大阪ダブルハンドヨットレース報告
(5)支部長，専門委員長報告
(6)その他
５．議　事
14：00　清水専務の司会により開会，久保常務理事から出席理事26名で理事30名の過半数である旨の報告があり，本理事会の成立を確認，石原会長が議長となり，議事録署名人に朝河，宮坂両理事を指名し，議事に入った。

最初に，石原議長から，１時間30分ぐらいしたら退席しなくてはならないが，最後の議題(6)のなかに，私から提案したい問題が２件ある。その一つは，クラブハウスの件で，先日，三浦市長と会った際，三崎警察署の跡地をNORCのクラブハウスとして提供してもよいという話になったので積極的に進めさせてもらいたい。もう一つは，ベンガルベイヨットクラブをフランチャイズとしてアメリカズカップに名のりをあげている慶屋の小林氏から話しがあり，アメリカズカップの，オーシャンレースを行っているクラブという資格についてのコミュニケーションのために，NORCのレースに冠という形で協力したいと云ってきているので，技術的な問題もあり，討論願いたいと発言があり，議題(6)で審議することとなった。

議題(1)について

大儀見副会長から，アメリカズカップチャレンジについては，第98回理事会の決定により，NORCがチャレンジクラブという形で，特別委員会を発足させ山崎氏とヤマハを中核としたシンジケートを組織し，事業の責任はシンジケートがとるということで進んできたが，進捗状況はスムースに行われており，オフィシャルスポンサーも現在11社を数えなお進行中である。また，チャレンジ委員会会長山崎氏から，同委員会の舵取的機能として実行委員会を設置することになったが，NORCの代表として大儀見副会長に委員として就任していただきたい旨の依頼がきている等の報告が資料にもとづいて行われた。

石原議長から大儀見副会長のニッポンチャレンジアメリカ杯1991委員会実行委員会委員就任について賛否が問われ，これを了承議決した。石原議長からチャレンジ委員会の進捗状況は以上のとおりである。委員会からNORCに対する連絡がスムースであったとは云えないが，今後良くなると思うし，成功を見守ってゆきたい旨の発言があった。

さらに，石原議長から，アメリカズカップチャレンジには，日本から２チームが参加することになった。山崎氏の方は，NORCと直接係り合いを持ったうえで，また小林氏の方はベンガルベイヨットクラブ（BBYC）をフランチャイズとしてである。NORCはナショナルオーソリティとして，２チームに均等の協力をしてゆくこととしたい旨の提案があり，慎重に討論した結果，NORCは第98回理事会の決定どおり，チャレンジクラブとして山崎氏のシンジケートチャレンジ委員会の成功に協力する。また，社団法人として両チームに対し，基本的に要請があれば，協力することが決定された。

議題(2)について

木村氏から，資料にもとづき，本年11月12日から同

15日までの間，葉山～逗子沖において開催されるニッポンカップ国際ヨットマッチレースについて，概略次の説明があった。

６月12日第１回組織委員会を開催し，次のことを確認し，整理した。葉山マリーナにレース本部を設置し各委員会を設け具体的準備に入る。外国からの招待６チームに対する国内２チームのうち１チームは葉山マリーナヨットクラブからのエントリーとし，残る１チームについては，NORC からの推せんを受けてのエントリーとしたいが，例えば予選を行うとすれば，本レースに使用する８艇を使用して　○ア杯挑戦ニッポンチャレンジチーム　○ア杯挑戦ベンガルベイチーム　○NORC 各支部推せんの６チームによりレースを行いたい。

今後の連絡については，NORC 側窓口は総務委員会とすること及び木村氏がやり易いように協力することを決定した。

議題(3)について

清水専務から，大型艇問題に関する経緯について，資料にもとづき，大要次の説明があった。昭和53年 JYA が文部省及び運輸省の共管法人となるに当って，NORCとの対象艇に関するいわゆる「線引き」問題について運輸省からの指導を受け，NORC は全長５メートル以上の大型艇であって，外洋航海の堪航性を有するもの，JYA はそれ以外の艇という覚書案を示され，両協会で重ねて審議してもらいたいという説明があった。その後両協会は，全日本ヨット連絡協議会を設け，諸問題についての話し合い解決の場としてきた。ところが今回 JYA の機関紙に「JYA は，ディンギークラスだけの協会でなく，セールボードから12メータークラスまで統括する団体であることを認識して，大型艇問題に対処する」旨の記事が掲載され，また，広島地方で，大型艇の管轄に関する問題が発生している。６月３日運輸省に説明した際，前記の運輸省の意向は変ってないことを確認した。

西内海支部金井氏から，広島県において，県ヨット連盟がすべてのヨットの登録業務を行う（セールナンバーを交付する）と云っており，NORC に関心を示すヨットマンに動揺の色が見えている。大型艇のセールナンバーは NORC が交付するということを実務でも確認したい。と発言があり，（石原議長退席，大儀見副会長議長となる。）清水専務，児玉理事から登録問題は，総務委員会で検討中であるが，NORC の組織，ポリシーの根幹にふれる問題で慎重に検討しなくてはならない。登録（セール番号）安全基準，船舶職員法等，行政がらみの問題は社団法人として，レース等の問題は，クラブとして，当協会の二面性を考慮し組織の改正を検討すべきと思料される。等の発言，提案があり，種々討議した結果，全日本ヨット連絡協議会を早急に開催し，大型艇問題について必要なら JYA に文書を出すこととする。広島問題については，総務委員会と西内海支部とで対処し，解決方法を見出だす。組織の問題については，組織問題検討委員会を設けて検討する。委員会の構成，委員の数等については，清水専務に一任する。等を決定した。

議題(4)について

松木理事から，資料にもとづき，申込書送付数97艇，スタートした艇64，完走艇46，リタイヤ艇17，失格艇１で，１艇が転覆沈没行方不明１名の事故があったが，レースが終了したこと，及び大阪市は４年後に第２回レースを行なうことを言明した旨の報告があった。

議題(5)について

イ　支部長報告

① 三井近畿北陸支部長から５月24日に行なわれた，サムタイムレースについて，資料にもとづき報告があった。

② 船木北海道支部長から日本海レースについて大要次の報告があった。

○ I. O. R とクルーザーレーティングの２本建てで実施する予定であるが，ソ連がクルーザーレーティングに難色を示している。そのため猿渡氏が訪ソ中である。

○ 現在の参加艇は，ソ連７，東独，ポーランド，ブルガリア各１，その他中国，デンマーク，オーストラリア，フランス等，日本は５隻であるが，ソ連艇に対抗できる艇が３隻ぐらい参加するよう，各支部にお願いしたい。

③ 都築（東海支部）理事から，鳥羽レースの冠スポンサーについて質問があり清水専務から鳥羽レースには冠スポンサーはつけない旨の説明と，さらに，スポンサー問題については慎重に扱う必要がある。第101回理事会（62. 2. 21）において予算説明の際，各支部が，レースのスポンサーを新しくとるときは，本部に連絡していただきたいとの方針をこの際再確認したい旨の発言があった。

ロ　委員会報告

① 宮坂帆走委員長から来年の沖縄レース及び小笠原特別レースに関するアンケートをとり，詳細については実行委員会を発足させて詰めてゆきたい旨の提案があり，承認された。

② 平野泊地対策委員長から，「小型船舶流通・利用基地システム調査研究計画（うみねこ計画）」に協力する件の説明があり，さらに，真鶴町マリーナ計画に関し，NORC に調査研究の協力依頼の提案があった。

この協力については，計画内容を検討確認した後，審議することとなった。

③ 林計測委員長から IMS について，マシーン計測をして計測書類を発行する体制をとりたい。コンピューター化が進んでいるので他委員会と兼ねて専任のオペレーターを要望する旨の発言があり，大儀見議長から，ORC から IMS 推進委員の任命要請

が来ている旨の発言があり，林計測委員長がIMS推進委員として承認された。

また，林計測委員から本年11月のメジャーラーコンファレンスには，計測委員の高橋氏を予定している旨報告された。

議題(6)について

イ　新入会員承認

清水専務から，5月30日までの新入会員271名の入会について資料にもとづき報告があり，全員入会が承認された。

ロ　クラブハウスについて

大儀見議長から，石原会長提案の警察署跡地の件は，立地条件が適地であるし，市長の意向も非常に協力的であるので，前向きに具体的な事項を詰めてゆきたいとの提案があり，承認された。

ハ　「全国プレジャーボート泊地総覧」について

清水専務から舵社企画の「全国プレジャーボート泊地総覧」について，資料にもとづき説明があり，この企画にNORCとして協力したい旨の発言があった。

他に質疑意見はなく，以上で全議案を議了し，17：30第102回理事会を終了した。

上記議事録に誤りのないことを証明し，記名押印する。
昭和62年6月13日

議　長	石原慎太郎
〃	大儀見　薫
署名人	朝河　清
〃	宮坂　敬三

海技免状の「更新」のご案内

昭和62年4月30日から海技免状の有効期間の更新制度がスタートしました。

1　**趣旨**

○　更新制度は，既に海技免状を取得しておられる方々に対して，**5年毎**に身体適性及び知識・技能の再確認を行うことによって，より一層船舶の**航行の安全**を図ろうとするもので国際条約に基づいています。

○　現に交付を受けている海技免状の有効期間は5年で，更新を受けずに有効期間が満了したときは，免状が失効し，その免状では引き続き船舶に乗り組むことができなくなります。

○　海技免状は，自動車の運転免許とは異なり，免状が失効した場合でも免許そのものは終身有効（昭和49年5月25日以前に取得又は試験に合格した旧小型船舶操縦士の免許を除きます。）となっていますので，免状の再交付を受けることができますが，再交付の手続きは大変繁雑になりますので**忘れずに更新**を受けてください。

2　**更新の要件**

○　更新に当たっては，

第一に，一定の**身体適性基準**を満たしていること

第二に，次の要件のうち，いずれかひとつを満たしていることが必要です。

(1)指定講習機関の行う**講習を修了**していること。

(2)必要な**乗船履歴**を有していること。

(3)上の乗船履歴を有している者と同等以上の知識及び経験を有していると地方運輸局長が認める職務に一定期間以上従事していたこと。

（同等業務経験の認定）

3　**身体検査について**

○　身体検査基準を満たしていることの認定のため，あらかじめ一般の医療機関の医師（歯科医師は除きます。）の検査を受けるか，講習の際に指定講習期間の身体検査員による検査を受け，身体検査証明書を取得することが必要です。**地方運輸局や海運支局では身体検査を行いません**ので注意してください。

（地方運輸局長又は小型船舶操従士の指定試験機関（財日本モーターボート協会）が交付した有効な身体検査甲種合格証明書又は身体検査乙種合格証明書でも受け付けます。

○　**身体障害**のある方はその他身体検査に関し**ご相談**がある方は，**指定講習機関**の「**身体検査相談コーナー**」にご連絡ください。

4　**更新講習について**

○　**講習**は，乗船履歴の**証明**や同等業務の**認定に代わって，確実に更新要件を満たす方法**です。

○　**講習**は，運輸大臣の指定する講習機関（指定講習機関）が全国各地で開催する一時間程度のもので，その際更新の要件となっている**身体検査も併せて受検**することができます。（身体検査のみの受験はできません。）

また，地方運輸局等への申請手続きも依頼すれば指定講習機関で代行してくれます。

○　講習の種類は，次のとおりでそれぞれ右欄に掲げる資格の海技免状を更新しようとする方法を対象にして行われます。

講習の種類	資料
1 航海A講習	一級海技士(航海)、二級海技士(航海)、三級海技士(航海)、船橋当直三級海技士(航海)
2 航海B講習	四級海技士(航海)、五級海技士(航海)、六級海技士(航海)、
3 機関A講習	一級海技士(機関)、二級海技士(機関)、三級海技士(機関)、機関当直三級海技士(機関)、内燃機関二級海技士(機関)、内燃機関三級海技士(機関)、、
4 機関B講習	四級海技士(機関)、五級海技士(機関)、六級海技士(機関)、内燃機関四級海技士(機関)、内燃機関五級海技士(機関)、内燃機関六級海技士(機関)、
5 通信講習	一級海技士(通信)、二級海技士(通信)三級海技士(通信)
6 小型船舶操縦士講習	一級小型船舶操縦士、二級小型船舶操縦士、三級小型船舶操縦士、四級小型船舶操縦士、湖川小馬力四級小型船舶操縦士

○　講習を受けて更新するときの**手続きには，身体検査を含め全体で半日程度**必要です。時間に遅れないように，また海技免状その他必要な書類を忘れないようにして下さい。

○　**指定講習機関**は，**[参考]**に掲げる六機関で，それぞれの事務所の所在地では定期的に講習を開催しています。また，各地で出張講習も行います。講習の**日時，場所**等の詳細については，各**指定講習機関にお問い合わせ下さい。**

○　講習，身体検査の料金は，次のとおりです。

	受講料	身体検査手数料	計
大型講習	3,400円	800円	4,200円
小型講習	3,100円	700円	3,800円

(注1)　更新申請手続きを依頼したり、郵送による海技免状の受領を希望するときは、この他に所定の手数料が必要です。

(注2)　身体検査手数料は、指定講習機関で身体検査を受けるときのものです。

5　**乗船履歴**について

乗船履歴は，海技免状の満了日以前5年以内に次の期間以上船舶に乗り組んだ履歴をいい，申請者が本当に船舶に乗船していたことが，船員手帳その他の書類によって**はっきりと証明**されなければなりません。

(証明方法は，大変複雑となっていますので，**地方運輸局，海運支局の窓口又は海事代理士におたずねください**)。

海技士（航海）	船長又は航海士として	1年
海技士（機関）	機関長又は機関士として	1年
海技士（通信）	通信長又は通信士として	1月
小型船舶操縦士	船長として	1月

6　**同等業務経験の認定について**

同等業務経験の認定は，海難審判庁審判官，水先人等の特殊な業務に携わっている方のみに認められる制度です。

7　**更新の手続**

(申請手続)

申請手続きは，本人又は海事代理士が行ってください。

申請窓口の地方運輸局・海運支局（80ヶ所）

北海道地方	
北海道運輸局（小樽）	0134-23-4161
函館海運支局	0138-42-5732
室蘭　〃	0143-23-5001
苫小牧　〃	0144-32-5901
釧路　〃	0154-22-5161
根室　〃	01532-3-6417
留萌　〃	01644-2-0554
稚内　〃	0162-23-5047
東北地方	
東北運輸局（塩釜）	022-363-1268
小名浜海運支局	0246-54-2311
釜石　〃	0193-22-3806
宮古　〃	0193-62-3500
気仙沼　〃	0226-22-6906
石巻　〃	0225-95-1228
八戸　〃	0178-33-0718
青森　〃	0177-76-3070
秋田　〃	0188-45-0556
酒田　〃	0234-22-0700
関東地方	
関東運輸局（横浜）	045-211-2454
東京海運支局	03-471-9711
川崎　〃	044-266-3878
横須賀　〃	0468-61-3983
三崎　〃	0468-81-3521
千葉　〃	0472-41-6491
銚子　〃	0479-22-1247
鹿島　〃	02999-2-2604
那珂湊　〃	02926-2-3513
新潟運輸局	025-244-6111
中部地方	
中部運輸局（名古屋）	052-661-9231
伏木海運支局	0766-44-1367
七尾　〃	0767-53-1120
清水　〃	0543-52-0174
下田　〃	05582-2-0517
四日市　〃	0593-52-2883
鳥羽　〃	0599-25-4790
近畿地方	
近畿運輸局（大阪）	06-572-5441
敦賀海運支局	07702-2-0003
舞鶴　〃	0773-75-0616
和歌山　〃	0734-22-0606
勝浦　〃	07355-2-0260
神戸海運監理部	078-321-3141
姫路海運支局	0792-34-2511
相生　〃	07912-2-5113
中国地方（広島）	
中国運輸局	082-251-5135
尾道海運支局	0848-23-5235
因島　〃	08452-2-2298
木江　〃	08466-2-0625
呉　〃	0823-22-2520
境　〃	0859-42-2169
松江　〃	0852-21-4750
玉野　〃	0863-31-4266
水島　〃	0864-44-7750
徳山　〃	0834-21-0180
宇部　〃	0836-21-1417
下関　〃	0832-66-7151
四国地方	
四国運輸局（高松）	0878-21-5621
徳島海運支局	0886-22-7622
松山　〃	0899-51-0145
今治　〃	0898-23-3223
宇和島　〃	0895-22-0260
新居浜　〃	0897-33-2255
高知　〃	0888-32-1175
九州地方	
九州運輸局（北九州）	093-332-8085
若松海運支局	093-751-8111
苅田　〃	093-436-0154
福岡　〃	092-281-4696
三池　〃	0944-52-5390
長崎　〃	0958-22-0010
佐世保　〃	0956-31-6165
唐津　〃	09557-2-3009
三角　〃	0964-52-2033
大分　〃	0975-21-2010
津久見　〃	09728-2-2274
細島　〃	0982-52-3677
油津　〃	0987-22-2018
鹿児島　〃	0992-22-5660
名瀬　〃	0997-52-0756
奄美・沖縄地方	
沖縄総合事務局	0988-66-0031
宮古海運事務所	09807-2-4775
八重山　〃	09808-2-4944

（申請場所）

申請者の本籍，現住所には関係なく，**全国各地の地方運輸局**（沖縄総合事務局。）又は**海運支局**（海運事務所）（全国80か所）で受け付けています。

（申請期間）

受け付けの期間は，海技免状の有効期間の**満了日**（免状の備考欄の有効期間起算日に5年を加えて算出してください。）**以前一年以内**となっています。

但し，この更新期間の全期間を通じて海外で船舶職員の業務に従事する方（長期乗船者）や複数の免状を持ち，そのひとつが更新期間に入っている方（複数免状受有者）は，更新期間前であっても特例として更新の申請をすることができるようになりました。（この場合，長期乗船者は，その要件に該当することの所属会社などの証明書が必要です。）

（提出書類）

申請するときは，**海技免状**に以下の書類を**添えて提出**してください。

（ゴシック太字のものは，全員が必要です。）

①**更新申請書**

②**身体検査証明書**（身体検査甲種合格証明書，身体検査乙種合格証明書も可）

③次のいずれかの書類

(ア)乗船履歴を有することを証明する書類（詳細については地方運輸局，海運支局又は海事代理士に問い合わせください。）

(イ)同等業務経験認定書

(ウ)更新講習修了証明書

④**手数料の納付書**（収入印紙を貼って下さい。）

⑤海技免状用写真票（長期乗船者又は複数免状受有者で特例申請をする方のみ提出してください。）

⑥海技士（通信）の海状免状については以上のほか

(イ)船舶局無線従事者証明書

(ロ)申請日以前10年間の通信長又は通信士として船舶に乗り組んだ履歴を証明する書類（履歴を証明できない場合は，更新講習を受ける必要があります。）が必要です。

（以上の書類は，それぞれ様式が定められています。特に更新申請書はマークシートに限られていますので，更新講習を受講される方は指定講習機関の窓口で，それ以外の方は最寄りの海事関係図書取扱い書店等でお求めください。）

（更新申請手数料）

更新しようとする海技免状1枚につき　800円

本文は、(財)日本海技協会誌「人と船」第51号から、転載させていただきました。

〔参考〕

指定講習機関一覧表

名	称	住所	郵便番号	電話番号
(財)日本モーターボート協会	本部	東京都中央区銀座8-20-34	104	03-543-7321
	北海道事務所	小樽市色内1-9-1（松田ビル）	047	0134-32-5123
	東北事務所	塩釜市北浜1-1-12	985	02236-4-3190
	新潟事務所	新潟市堀之内324（ユタカビル）	950	025-283-1996
	関東事務所	東京都中央区銀座8-20-34	104	03-543-7326
	中部事務所	名古屋市中区平和1-23-16	460	052-331-0185
	近畿事務所	大阪市港区築港2-8-33（海運ビル）	552	06-574-5353
	中国事務所	広島市南区宇品海岸2-23-36（広島海上ビル）	734	082-255-2717
	四国事務所	高松市丸の内10-1（大和生命ビル）	760	0878-22-1194
	九州事務所	北九州市門司区港町6-2（九州ビル）	801	093-332-1537
	沖縄事務所	那覇市前島2-21-13（ふそうビル）	900	0988-61-0474
(財)日本船舶職員養成協会	本部	東京都千代田区麹町4-5（海事センタービル）	102	03-263-3121
	北海道支部	小樽市色内1-2-18（通信浜ビル）	047	0134-25-6145
	函館海技専門学院	函館市広野町5-8	042	0138-52-4592
	東北支部	塩釜市貞山通り2-3-8	985	02236-4-7371
	塩釜海技専門学院	〃		
	新潟支部	新潟市五十嵐一の町6370	950-21	025-269-2944
	新潟海技専門学院	〃		
	関東支部	東京都千代田区麹町4-5（海事センタービル）	102	03-263-3121
	横浜海技専門学院	横浜市中区本牧ふ頭3	231	045-623-6804
	中部支部	名古屋市港区入船1-5-8	455	052-653-1550
	名古屋海技専門学院	〃		
	近畿支部	大阪市住之江区南港南2-1-51	559	06-612-4936
	大阪海技専門学院	〃		
	神戸支部	神戸市中央区海岸通3（海岸ビル）	650	078-391-0489
	中国支部	広島市南区宇品海岸2-23-36（広島海上ビル）	734	082-254-3417
	境港海技専門学院	境港市昭和町11-17	684	08594-4-4415
	四国支部	高松市春日町1748-1	761-01	0878-41-1721
	高松海技専門学院	〃		
	九州支部	北九州市門司区旧門司2-4-11	801	093-331-0764
	門司海技専門学院	〃		
	長崎海技専門学院	長崎市福田本町185	850	0958-65-0634
	沖縄支部	那覇市泊3-1-8	900	0988-68-3400
	沖縄海技専門学院	〃		
(財)尾道海技学院	本部	尾道市栗原東2-18-43	722	0848-37-8111
	広島事務所	広島市中区八丁堀12-1（第一鯉城ビル）	730	082-221-5120
	岡山事務所	岡山市丸ノ内1-9-6（児島湾漁村センター）	700	0862-25-8477
	山陰事務所	松江市八軒屋町16	690	0852-21-3366
(社)中国船舶職員養成協会		広島市南区宇品東5-4-5	734	082-255-8700
(財)関門海技協会		下関市東大和町2-3-25	750	0832-66-4029
三角町立九州海技学院		熊本県宇土郡三角町大字三角浦1193	869-32	09645-2-2451

第1回　ミニトン関西選手権
のお知らせ

下記の予定で第一回ミニトン関西選手権大会を開催したいと思います。皆様のふるっての参加をお待ち申し上げます。

実施要項

1．主　　催：日本ミニトン協会琵琶湖支部
2．主　　管：NORC 近畿北陸支部
3．後　　援：レークウエストヨットクラブ
ヤマハ発動機 KK
マリンオフィスフジタ
Biwako　スモールヨットクラブ
4．開催場所：琵琶湖レークウエストヨットクラブ
5．大会日程　9月12(土)，13(日)，15(祝)
9月12日(土)
15：00—インスペクション
16：00—最終申告
17：00—艇長会議
18：00—ウエルカムパーティ
9月13日(日)
9：00—オリンピック第一レース
13：00—ショートディスタンス
9月15日（火，祝）
9：00—オリンピック第二レース
12：30—オリンピック第三レース
17：30—表彰式
6．適用規則
NORC 外洋レース規則（第二条，1981～84国際競技規則（IORR）も含む）及び大会帆走指示書
7．参加資格
＊NORC の登録艇，もしくは会友艇で艇長は会員か会友であること。
＊1987 IOR もしくは JOR 17.4 ft 以下の有効なレーティングを有する艇。ただしプロダクション部門については簡易レーティング可。
＊ORC 安全カテゴリー 4，及び NORC 設備規定C以上の安全検査に合格していること。
＊日本ミニトン協会会員であること。(入会金5,000，年会費2,400円)
8．クラス
クラスA（IOR もしくは JOR 17.4 ft 以下のレーサータイプ。但し 16.5 ft 以下のものは16.5 ft とする。）
クラスB（全長23 ft 以下，JOR 16.4以下のプロダクションタイプ，但し簡易レーティング可，改造艇を除く）
9．参加料
1艇につき20,000円，特別エントリーの艇30,000円（特別エントリーの1位の艇には本年の全日本ミニトン選手権の艇の搬送費20万円が日本ミニトン協会から与えられます）　乗員1名につき3,000円
10．賞
総合優勝　関西選手権杯
各クラス　優勝　日本ミニトン協会杯
2位，3位　トロフィー
11．ウエルカムパーティ：会費1名3,000円（ブレザー着用，1艇2名以上参加願います）
12．参加申し込み：高槻市辻子3-11-6　入江方　ミニトン関西選手権実行委員会
☎0726-71-4817
13．お問い合わせ：同上

「イメージ　カンピューター　レーティング」

——それなりに楽しく、それなりに公平で、それなりのレース運営のために——

内海支部計測委員長、IOR公式メジャラー
飯塚　巧二

クルーザーヨットのレースは同型クラスやレベルレースを除いて，レーティングによるハンデキャップシステムのレースとして行なわれています。レーティングとはこのハンデキャップのベースとなるそれぞれの艇のポテンシャルを表している数値のことです。通常，IOR, JOR と言われている，どちらかといえば難解なルールで計測，計算され，定められています。

最近この難解で高価（？）なレーティングに対し，「NORC クルーザーレーティングシステム」が提案され，普及され始めました。このシステムは IOR, JOR と比べ，計測が簡単なこと，寸法，設計の異なる広範囲なヨットをカバーできること，なおかつ，IOR, JOR に相応したレーティングが得られるなどのメリットがあります。しかし，簡単なルールであるがために，ルールの本質を理解し，正しい計測点を見出

すことと,それなりの計測精度を保つ必要があります。多少の時間と費用をもって，メジャーリングされ，手続きを踏まなければなりませんが，その運用については，そのレースに参加する人達の意志が入ってくるような，フレキシビリティを持っていてもよいと思われます。

現在，各地で各種行なわれている，フェスティバルレースや，クラブレース等などシビアでメジャーなレースとは異なるレースにおいては,実際,カンピューターレーティングと言われる，正式なレーティング（IOR, JOR）に準じたり，同型艇のレーティングを参考にしたりの，それなりのレーティングが用いられることが多い。

この方式は決して完全ではないけれど，それなりのメリットがあります。メリット論よりも，その方法以外にどうしようもないというのが，現状かもしれません。特に単発のフェスティバルレースなどの場合，多数の参加を呼びかける必要があり，非常にイージーな発想ではありますが，この方法を用いるしか手がないと思われます。

各地で実際使用されている，このカンピューターレーティングには不平不満が必ずつきまとうと思います。これは誰が決定しても，所詮その解消は不可能です。公式により実測値から計算されたものではないのですから，人為的なニオイがその原因だと思います。

我々国民はなぜか，定められた規則と数式により与えられた答を納得し，その数値にはこだわるが，基本となる規則には寛容なようです。それはお上が決めたもの，それはそれでしょうがないという妙な納得があるからでしょうか？

ついでに付け加えるならば，我国でクルーザークラスのレーティングと呼ばれているものは，殆どIORによるレーティングをベースとしています。IORが絶対的なものである，という考え方はパーフェクトではありません。IORは元来，インターナショナル・レースのためのルールであり，レーティング算出の一つの方法であるだけです。従って,いろいろなレーティングがあってもよく，フェスティバル・レース用のレーティングがあっても悪くないと思います。

そのような意味では，カンピューターレーティングも立派なレーティングの一つなのです。勿論，IORは，艇のスピードポテンシャルを表わしていると考えられますから，これをベースにすることも有用であると思われます。

ここに紹介するレーティングは，内海支部に関連するレースで用いられているものです。IORメジャラーとして，またレース・コミッティとして，沢山のレース結果からコンピューターを使わずに決定したものです。この独断的なレーティング表を公表するのは，各地で使用されているカンピューターレーティングと情報変換ができれば良いと思いますし，更に，これらカ

表　I

TYPE	R(f)	TYPE	R(f)
YAMAHA-21C	16.2	YAMAHA-30	21.0
YAMAHA-21S	16.4	YAMAHA-30C	20.8～9
YAMAHA-21R&C	16.1	YAMAHA-30S	21.3
YAMAHA-21JOG	15.8	YAMAHA-30II	21.0
YAMAHA-21CEX		ビオン	20.6
YAMAHA-21	15.8	なかよし295	21.6
YAMAHA-19DX	16.0	なかよしMKII	21.8
YAMAHA-22	17.7	なかよし30	21.6
YAMAHA-24MKII	17.2	なかよし30S&C	20.8
YAMAHA-25C	18.3		
YAMAHA-26S	18.5	バンドフェット	22.5
YAMAHA-26CEX	18.3	YR—30	22.8
YAMAHA-26	18.0		
YAMAHA-28	21.4	チャンス29	20.2
ST-27	T 19.2	BW—30	20.5
	S 18.8	ニコルソー—30	21.2
エクメドメール	18.0	ゴールデンシャムロック30	21.2
エクメスポーツ	18.2	デュボア30	21.2
リベッチオ	18.5	ピーターソン30	20.6
リュンドメール	16.0	デュフォー30	20.4
レブドメール	17.3	SK30	20.0
バサトーレバカンス	19.8	インペンサブル30	21.0
バサトーレスポーツ	20.0	S & S 30	21.0
パピヨン	18.7	カフマン30	21.0
ソレイユルボン	18.8	ファー920	22.4
クーガー23	16.7	アルページュ30	20.0
レブトン	16.4	N－300	21.0
オセアン22	16.8	C & C30	21.0
オセアン23	16.5		
オセアン25	17.0	フレンドシップ32	23.2
デュボア1/8(23)	16.5		
ピアス	16.5	ヨコヤマ30(ショートリグ)	21.6
なかよし25	17.4	ヨコヤマ30(トールリグ)	21.8
ハイグレース26	17.7	ヨコヤマNEW30	22.8
ジョイラック26	21.2	ヨコヤマ32	23.2
スプレンダー27	18.5		
ファー727	18.6	オクムラF30(タカイ)	22.4
N－240	17.0	ニッサン30	21.5
マジックパス	17.4	パイオニア9	マストH 21.8
サムライ26	16.5		ミディアム22.4
ピーターソン26	17.3	YAMAHA-33	23.5
テキーラ24	17.1	オリオン	23.3
ベラ24	17.6	パイオニア10	22.0
N－260	17.2	パイオニア10MKII	24.0
スプレンダー24	16.5	グランドソレイユ	23.2
キャナル23	16.8	ピーターソン33	23.6
キャナル25	17.2	ピーターソン34	24.0
BW21	16.4	BW33	22.4
BW23	16.6	タカイ34RSC	25.4
BW24	16.6	ホランド33	23.6
BW25	17.1	Y－R34	24.8
TK25	16.4	ヨコヤマ33	24.5
J－24	21.6	ヨコヤマ33MKII	24.7
サンビーム22		YAMAHA－36	26.0
KQ24	16.5	ピーターソン37	26.2
ホランド26	18.8		
サンシャイン26	17.8	ピーターソン42	31.0
サンシャイン21	16.4		
サンデー850	21.5	サンデー850	21.5
TK27	18.5		
ヨコヤマ28(29)	21.5	ノラ21	15.2
フレンドシップ28	20.4～2	ノラ26	16.2
Y－29	20.0		
スカンピ	19.5		

ンピューター間にオンラインを持ち，それなりに，より公平なものになれるようにと願うからです。各地のカンピューター諸氏の意見，データ，自信と不安のあるデータを変換することができれば楽しいと思います。また，このレーティング表をそのまま利用された場合，海域によっては不公平と思われる艇種がでてくると思いますが，自由に修正していただいて結構ですし，その報告もいただければ幸いです。

表Ⅰは大型艇から小型艇までをクラス別にすることなく決めています。

（本来，レーティング21 f 前後で2クラスに分ければ，そのクラス内においては，より公平に近いものが出来ると思いますが，このほうが一般的に使用しやすいと思います。）

また，表にない艇種も多数あると思いますが，大きさ，船齢，イメージ等で近い艇に当てはめればよいと思います。

このレーティングの基本的な考え方は，その艇種が特別に改造されることなく，通常のトリム，リグで整備されていることを前提としています。当然，乗り手側の技術は無視しております。古い艇でも船底をキレイにし，形のくずれていないセールをもち，相応の技術をもったスキッパー，クルーが乗ったと仮定しています。つまり，あくまでも艇のポテンシャルです。多少，デザインの開発による新旧のハンデは考慮しています。

この表Ⅰのレーティングに対し，表Ⅱのようなエイジボーナス，プロペラボーナス等のファクターを付加できます。そのレースの趣旨により，いろいろなファクターを付加するのも自由であり，楽しみだと思います。

表　II

エイジボーナス	**(A)**	**(B)**
船　令　0～2	±0 0	±　0
3～4	－0.1	±　0
5～6	－0.3	－0.1
7～9	－0.4	－0.2
10	－0.5	－0.3
プロペラボーナス		
フォルデング	±　0	
船　外　機	±　0	
ソリッドペラ		
2枚翼		
R(f)21.9以下	－0.1	
R(f)22.0以上	－0.2	

表Ⅲは「NORC クルーザーレーティング」で使用される「タイムアローワンスシステム」をレーティングfに換算したものです。簡単に説明しますと，

従来の T.C.F 方式では，CT＝ET×TCF

	R(f)	TCF	ET	CT	順位
A艇	24.0	0.7499	3：00：00 10800 S	8098	2
B艇	21.2	0.7204	3：10：00 11400 S	8212	3
C艇	16.2	0.6625	3：20：00 12000 S	7950	1

となるレース結果が，このタイムテーブルを使用すると，

①スタートからフィニッシュまでの直線距離（D）（この場合，12Mと仮定）

②風速5 m/s 以下の微風だったと仮定する。

CT＝ET－TA×D により

				順位
A	10800－655×12	＝	2949	1
B	11400－680×12	＝	3240	3
C	12000－737×12	＝	3132	2

のように，このタイムテーブルを使用するならば，コースの長さ，風速によりハンデキャップは変化するのが，特徴です。

TCF 方式，TA 方式，どちらを利用するかは，過去のデータを再度，TA 方式にて計算するなどして，その選択を検討すれば，おもしろいと思います。

このような考え方は，各国にあるパフォーマンス・ハンデキャップ・システム（PHRF など）と全く同じ考え方です。彼等は毎週のように行われるレースの結果を集積し，レーティングとハンデキャップのための分析を行っていますが，そのための公式があるわけではありません。レーティングやハンデキャップを考えることもヨットの楽しみ方の一つとして取込んでしまっている感があります。

世界的には，IOR の他に IMS も発表されています。これは，IOR よりも更に広範囲にクルージングボートも包括できるようなハンデキャップ・システムですが，残念ながら，IOR と同等かそれ以上の計測とコンピューター処理が必要です。

レースという，たてまえは一緒でも，そのレースの性格，背景は様々だと思います。それぞれに対応したレーティングとハンデキャップが存在すれば，そのさまざまなレースをよりスムーズに，より多く，企画できますし，それによって数多くのヨットがレースを経験され，ヨット遊びの楽しさを増加してもらいたいということが私の願いです。

おわりに，「それなりに」とは決して「いいかげん」ということではありません。コミッティーも参加者も同じヨット遊びの仲間です。遊びなればこそ，いいかげんでなく，それなりにベストを尽して楽しみたいと思います。

表　III

RATING	5m/S	5—9	9m/S
15.0	754	727	791
15.1	753	725	788
15.2	751	723	785
15.3	750	721	783
15.4	748	719	780
15.5	747	717	777
15.6	745	716	774
15.7	744	714	771
15.8	743	712	769
15.9	741	710	766
16.0	740	708	763
16.1	738	707	761
16.2	737	705	758
16.3	736	703	756
16.4	735	701	753
16.5	733	700	751
16.6	732	698	748
16.7	730	696	746
16.8	729	695	743
16.9	728	693	741
17.0	726	691	738
17.1	725	690	736
17.2	724	688	734
17.3	723	687	731
17.4	721	685	729
17.5	720	683	727
17.6	719	682	724
17.7	718	680	722
17.8	717	679	720
17.9	715	677	718
18.0	714	676	716
18.1	713	674	713
18.2	712	673	711
18.3	711	671	709
18.4	709	670	707
18.5	708	668	705
18.6	707	667	703
18.7	706	665	701
18.8	705	664	699
18.9	704	663	697
19.1	703	661	695
19.2	702	660	693
19.3	700	659	691
19.4	699	657	689
19.5	698	656	687
19.6	697	654	685
19.7	696	653	683
19.8	695	652	681
19.8	694	650	679
19.9	693	649	677
20.0	692	648	675
20.1	691	647	673
20.2	690	645	672
20.3	689	644	670
20.4	688	643	668
20.5	687	641	666
20.6	686	640	664
20.7	685	639	663
20.8	684	638	661
20.9	683	637	659
21.0	682	635	657
21.1	681	634	656
21.2	680	633	654
21.3	679	632	652
21.4	678	631	651
21.5	677	629	649
21.6	676	628	647
21.7	675	627	646
21.8	674	626	644
21.9	673	625	642

RATING	5m/S	5—9	9m/S
22.0	672	624	641
22.1	671	622	639
22.2	671	621	638
22.3	670	620	636
22.4	669	619	634
22.5	668	618	633
22.6	667	617	631
22.7	666	616	630
22.8	665	615	628
22.9	664	614	627
23.0	663	613	625
23.1	663	612	624
23.2	662	611	622
23.3	661	609	621
23.4	660	608	619
23.5	659	607	618
23.6	658	606	617
23.7	658	605	615
23.8	657	604	614
23.9	656	603	612
24.0	655	602	611
24.1	654	601	609
24.2	653	600	608
24.3	653	599	607
24.4	652	598	605
24.5	651	597	604
24.6	650	596	603
24.7	649	595	601
24.8	649	594	600
24.9	648	593	599
25.0	647	593	597
25.1	646	592	596
25.2	646	591	595
25.3	645	590	593
25.4	644	589	592
25.5	643	588	591
25.6	643	587	590
25.7	642	586	588
25.8	641	585	587
25.9	640	584	586
26.0	640	583	585
26.1	639	582	583
26.2	638	582	582
26.3	637	581	581
26.4	637	580	580
26.5	636	579	578
26.6	635	578	577
26.7	634	577	576
26.8	634	576	575
26.9	633	575	574
27.0	632	575	573
27.1	632	574	571
27.2	631	573	570
27.3	630	572	569
27.4	630	571	568
27.5	629	570	567
27.6	628	570	566
27.7	627	569	565
27.8	627	568	563
27.9	626	567	562
28.0	625	566	561
28.1	625	565	560
28.2	624	565	559
28.3	623	564	558
28.4	623	563	557
28.5	622	562	556
28.6	621	561	555
28.7	621	561	554
28.8	620	560	553
28.9	620	559	552

RATING	5m/S	5—9	9m/S
29.0	619	558	550
29.1	618	558	549
29.2	618	557	548
29.3	617	556	547
29.4	616	555	546
29.5	616	555	545
29.6	615	554	544
29.7	615	553	543
29.8	614	552	542
29.9	613	552	541
30.0	613	551	540
30.1	612	550	539
30.2	611	549	538
30.3	611	549	537
30.4	610	548	536
30.5	619	547	535
30.6	608	547	534
30.7	608	546	534
30.8	608	545	533
30.9	607	544	532
31.0	607	544	531
31.1	606	543	530
31.2	605	542	529
31.3	605	542	528
31.4	604	541	527
31.5	604	540	526
31.6	603	540	525
31.7	603	539	524
31.8	602	538	523
31.9	601	537	522
32.0	601	537	521
32.1	600	536	521
32.2	600	535	520
32.3	599	535	519
32.4	599	534	518
32.5	598	533	517
32.6	598	533	516
32.7	597	532	515
32.8	596	532	514
32.9	596	531	514
33.0	595	530	513
33.1	595	530	512
33.2	594	529	511
33.3	594	528	510
33.4	593	528	509
33.5	593	527	509
33.6	592	526	508
33.7	592	526	507
33.8	591	525	506
33.9	591	525	505
34.0	590	524	504
34.1	590	523	504
34.2	589	523	503
34.3	589	522	502
34.4	588	522	501
34.5	587	521	500
34.6	587	520	500
34.7	586	520	499
34.8	586	519	498
34.9	585	519	497
35.0	585	518	496
35.1	584	517	496
35.2	584	517	495
35.3	583	516	494
35.4	583	516	493
35.5	582	515	493
35.6	582	514	492
35.7	581	514	491
35.8	581	513	490
35.9	581	513	490

ニッポンカップ インターナショナル ヨットマッチレース の説明会及び参加のおさそい

NORC専務理事　清水栄太郎

本年2月アメリカズカップでのヨットマッチレースのスリリングな面白さは，NHK TV を通じて視聴者をお茶の間に釘づけにしました。

今回のレースは，上下マークのみのマッチレースですが海上の格闘技とも云える1対1のレースは影像を介してホットなマリンスポーツとなり得るでしょう。また，NHK TV により我々ヨットマンはもとより，日本のヨットファンを魅了してくれるものと思います。

本年のレース概要は次のとおりです。

1．主　催
日本外洋帆走協会，日本ヨット協会，葉山マリーナヨットクラブ

2．冠スポンサー：現在検討中

3．協　賛：ヤマハ発動機，他スポンサー各社

4．開催地：神奈川県葉山町　葉山マリーナ沖

5．開催日
(1)国内選抜レース：昭和62年11月7日(土)～8日(日)
(2)決 勝 レ ー ス：昭和62年11月12日(木)～15日(日)

6．出場チーム
(1)国内選抜レース
。ア杯挑戦ニッポンチャレンジチーム
。ア杯挑戦ベンガルベイチーム
。NORC 推薦チーム　6チーム
上記8チームにより，総当りレースを行ない，決勝レース出場チームを選出する。
(2)決勝レース
。外国招待チーム　6チーム
。葉山マリーナヨットクラブチーム
。国内選抜レース優勝チーム
上記8チームにより,総当りレースを行なった後，リーグ戦で最終ラウンドを行なう。

7．勝　敗：約1海里間隔のマークをし，または2往復して勝敗を決める。

8．使用艇：同型艇（ヤマハ30S）8艇を使用する。

9．チーム：1チームはスキッパー及びクルー4名の計5名とする。

以上ですが，NORC としては，6(1)の NORC 推薦チームを決める必要があります。会員各位の参加をお願いします。

〔説明会〕

レースの詳細，その他についての説明会を次により開催しますので，エントリー希望の会員は勿論マッチレースに興味をお持ちの方は御参集ください。

。8月22日(土)1400～1530
東京都港区虎ノ門1-15-16
船舶振興ビル10F第1会議室

。8月29日(土)1400～1530
大阪市北区梅田3-1-1
JR大阪駅大阪ターミナルホテル21F菊の間

〔エントリー（仮エントリー）の要領〕

1チーム5名（会員 NORC の会員であること）全員の。氏名（性別）年齢。会員番号。住所電話番号。エントリー希望の旨を明記し，ハガキ，または文書で NORC 各支部へ申し込むこと。締切期限9月10日（当日までの消印有効）

〔お知らせ〕

〈クラスの分類・TCFの算出etc.に関わるレーティング・フィートについて〉

本部／関東支部帆走委員会
本部ルール／本部計測委員会

計測証書のレーティング・フィートは，昨年度までは小数点第一位の数値まで算出されていましたが，本年度からは小数点第二位の数値まで算出されることになりました。

就いては，上記変更に伴い，レース参加艇のクラス別の分類並びに TCFの算出 etc. は下記の方法により行うことになりましたのでお知らせします。

記

＊＊計測証書レーティング・フィート：
計測証書に記載されている小数点第二位までのレーティング・フィート

＊＊四捨五入レーティング・フィート：
計測証書に記載されているレーティング・フィートの小数点第二位の数値を四捨五入した小数点第一位までのレーティング・フィート

1．参加資格の判定
レース参加資格に関わるレーティング・フィートは〈四捨五入レーティング・フィート〉を適用する。
[例] レース参加資格21.0 ft.～70.0 ft. とした場合には
20.95→21.0 ft.～70.0 ft.←70.04

2．クラス別の分類：
—NORC 外洋レース規則第3条—
クラス別の分類に関わるレーティング・フィートは

〈四捨五入レーティング・フィート〉を適用する。

［例］　計測証書記載R. F.　　　クラス分類R. F.

24.48 ft.──→は四捨五入して──→24.5 ft.

３．TCF/TMFの算出

TCF/TMFの算出に関わるレーティング・フィートは〈計測証書レーティング・フィート〉を適用する。

［例］

$$TCF=\frac{\sqrt{24.48}+2.6}{10}=0.XXXX \quad TMF=\frac{K\sqrt{24.48}}{1+q\sqrt{24.48}}=0.XXXX$$

４．セール枚数のリミット：─IOR-895─

セール枚数のリミットに関わるレーティング・フィートは〈四捨五入レーティングフィート〉を適用する。

以　上

62年度 初島卯月レース成績表

スタート時刻 4/4 11:00
帆走委員長　中川敏彦

本誌５月号にて掲載しました初島卯月レース成績表の中で〈GREAT PEOPLE〉のフィニッシュタイムが誤って記録されていましたので修正いたします。帆走委員長　中川敏彦

クラス順位	セール番号	艇名	初島廻航	到着時間	TCF/TMF	修正時間	総合順位
8	2112	FUJI Ⅲ	15：29	20:48′43″	0.8682	30.667	32
1	188	CONTESSA Ⅷ	15：22	19:59′36″	0.8294	26.853	1
6	3335	ORIHIME Ⅱ	15：40	20:59′05″	0.8209	29.507	26
5	3355	YUKIKAZE Ⅴ	15：30	21:00′03″	0.8128	29.263	21
7	3410	ZERO Ⅱ	15：27	21:06′01″	0.8209	29.849	29
4	3519	LAVIEEN ROSE	15：30	21:01′57″	0.8095	29.237	19
2	3544	BLUE NOTE	15：20	20:15′13″	0.8205	27.333	3
9	2611	MAPLE		21:44′07″	0.8075	31.207	33
3	3001	HALF TIME	15：34	20:59′41″	0.7703	27.716	4
8	386	MORE JOY CINQ	15：54	21:48′33″	0.767	29.846	28
4	2182	KELONIA	15：50	21:48′46″	0.7519	29.268	22
	3002	SYLPHIDES	17：15	21:47′58″	0.7396	28.754	DSQ
7	3039	SOUMI	16：00	22:08′49″	0.7420	29.776	27
6	3044	MRS. MEDAUSAE	15：35	21:53′24″	0.7513	29.454	25
5	3290	KAITAROH Ⅲ	15：54	21:46′08″	0.7552	29.278	23
3	3351	BIG SHOT	16：00	21:51′25″	0.7434	29.056	18
1	3575	KAGUYAHIME	15：54	21:50′17″	0.7417	28.939	15
2	3530	SUMMER KNOWNS	15：48	21:37′32″	0.7575	28.976	17
4	2677	GREAT PEOPLE	15：48	21:46′06″	0.7370	28.571	7
9	2970	POINCIANA Ⅱ	15：59	22:05′36″	0.7209	28.790	12
8	2979	SEA CROWN Ⅲ	なし	21:49′33″	0.7385	28.782	11
13	3088	BUNBLE BEE	15：30	22:04′46″	0.7331	29.240	20
	3236	NEFUNOREO	RET	20:00葉山(23:05)	0.7318		
10	3306	RIPPLE Ⅱ	15：37	21:55′00″	0.7327	28.795	13
5	3333	TABATHA	15：30	21:49′53″	0.7337	28.609	8
14	3387	BASIC	16：05	22:14′06″	0.7247	29.311	24
11	3414	OTSHOSAN	15：48	21:49′45″	0.7389	28.806	14
7	3485	ISIS	15：50	21:52′38″	0.7341	28.746	10
12	3494	ARC·EN·CIEL	15：50	21:55′55″	0.7360	28.965	16
15	3551	FIN MARSHUR	15：50	22:20′12″	0.7368	30.070	30
16	3558	MEY BE	15：56	22:26′36″	0.7363	30.333	31
3	3510	TRACER	15：55	21:47′55″	0.7311	28.422	6
6	3670	SAIKEN	15：55	21:51′15″	0.7347	28.708	9
2	2219	PEGASUS	16：09	22:14′01″	0.6958	28.139	5
1	3571	CROW	16：05	21:50′20″	0.6961	27.162	2

第14回 江ノ島・清水レース　成績表

スタート時刻：1987年7月18日12時15分00秒

CI	S.No	Name of Yacht	Type	R (ft)	石廊崎回航 月日時分	着順	フィニシュ時刻 月日時分秒	所要時間 (秒)	T.C.F.	修正時間 (秒)	総合 順位	クラス 順位
I	2112	FUJI Ⅲ	FRE45	36.99		DNF			0.8682			
II	2455	MARGE	DOU42	32.38	7/19 02 50	2	7/19 12 38 58	87838	0.8290	72818	5	2
	3355	雪　風 V	YOK40	30.56	7/19 07 40	7	7/19 15 49 50	99290	0.8128	80703	8	4
	3544	BLUE NOTE	ITO41	31.41	7/19 04 30	3	7/19 13 50 02	92102	0.8204	75560	6	3
	3660	青 海 波	X-1	30.67	7/19 03 40	1	7/19 12 02 00	85620	0.8138	69678	2	1
Ⅲ	2814	光　風	YAM37	28.34		DNF			0.7924			
	3161	DHARMA II	FUJ45K	28.25		DNF			0.7915			
Ⅳ	1909	DANDE LION	TAK34	25.78		DNF			0.7677			
	2182	KELONIA	YOK33	24.23		DNF			0.7522			
	3130	一寸法師	YAM34	24.61		DNF			0.7561			
V	1155	一　乗 Ⅲ	YOK31N	22.44		DNF			0.7337			
	1800	てんとう虫	YAM30S	21.80	7/19 04 05	6	7/19 15 27 22	97942	0.7269	71194	4	3
	2677	GREAT PEOPLE	YOK31N	22.76		8	7/19 17 38 50	105830	0.7371	78007	7	4
	2680	からすの子	J-24	20.49		DNF			0.7127			
	3043	MER AMI	YAM30S	22.09		DNF			0.7300			
	3386	SUPER EMERALDA II	YOK31N	22.39		DNF			0.7332			
	3414	OTSHOSAN	YOK32S	22.93	7/19 04 00	4	7/19 14 13 07	93487	0.7389	69078	1	1
	3699	NOVA 40	HAY30	22.94	7/19 05 17	5	7/19 14 37 48	94968	0.7390	70181	3	2

賞杯受賞艇艇名			
	総合優勝	駿河湾支部長杯	OTSHOSAN
	クラスⅠ～Ⅲ	静岡県知事杯	青 海 波
	Ⅳ	清水市長杯	該当艇なし
	V	藤沢市長杯	OTSHOSAN
	静岡県所属艇１位	静岡新聞社杯	てんとう虫

レース委員長　渡 辺 克 己

1987年ＮＯＲＣ近畿北陸支部レース
ポイントレース　7.8回戦

Sail No	艇名 艇種	T.C.F 持点	7回戦 着順	7回戦 所要時間	7回戦 修正秒	7回戦 修正順 得点	8回戦 着順	8回戦 所要時間	8回戦 修正秒	8回戦 修正順 得点	合計得点	備考
3324	CREEK KAN-23	0.6699 42.0	2	1:34:20	3,792	2 7.0	1	1:23:24	3,352	1 8.1/4	57.1/4	
3300	AKVAVIT TAK-1/8	0.6711 19.0	1	1:33:24	3,761	1 8.1/4		D.N.S		1.0	28.1/4	
3556	Fire Bird Ⅳ YAM-26S	0.6878 15.0	5	1:47:37	4,441	5 4.0	3	1:33:40	3,865	5 4.0	23.0	
498	海 貴 族 II YAM-21CEX	0.6612 0	7	2:06:01	4,999	7 2.0	6	1:39:36	3,951	6 3.0	5.0	
3370	MIX MAX KAN-23	0.6699 28.0	3	1:35:18	3,830	3 6.0	2	1:25:18	3,429	2 7.0	41.0	
2756	PUNPKIN 2 YAM-21S	0.6612 25.0	6	1:58:17	4,693	6 3.0	5	1:36:31	3,829	4 5.0	33.0	
2735	ESPERANZA YAM-21S	0.6612 2.0	4	1:43:45	4,116	4 5.0	4	1:34:18	3,741	3 6.0	13.0	
350	MARIE YAM-21C	0.6612 1.0	8	2:10:44	5,186	8 1.0	7	1:40:50	4,000	7 2.0	4.0	

Start　7月12日　10時35分　13時25分
S　4～6m/sec　0～2m/sec

帆走委員長：三井　祥功

OFFSHORE No. 149 昭和62年8月15日発行（毎月1回15日発行） 昭和52年7月21日第三種郵便物認可

売りたし／買いたし

情報コーナー

①全長　②船齢　③材質　④装備品　⑤希望価格
⑥住所　⑦氏名　⑧連絡先

〈売りたし〉

①ニコルソン31クルーザー　②10年　③英国製FRP　④完全整備済，船検，備品一式，ウィンドベーン，ライフラフト，暖房，冷蔵庫付　⑤800万円　⑥〒238-02三浦市三崎町小網代1219　⑦福留清彦　⑧0468-82-6543

安全委員会より領布物品のお知らせ
“レトローリフレクティブ・マテリアル”

ORCの安全規則（スペシャル・レギュレーション）では，1987年よりライフブイ，ライフラフト，ライフジャケットにレトローリフレクティブ・マテリアルを取り付ける事が義務づけられております。

日本での適用は，1988年からの予定です。

NORCでは，12×5㎝を10枚1セットとして，セット単位で頒布することにいたしましたので，御希望の方は希望セット数と発送先を明記のうえ，料金同封でNORC本部安全委員会宛お申し込み下さい。

価格　1セット（10枚）　¥2,000―（送料含む）

OFFSHORE　第149号　昭和62年8月15日発行
毎月1回15日発行
昭和52年7月21日　第三種郵便物認可
1部定価300円（郵送料45円）
発　行　社団法人　日本外洋帆走協会
東京都港区虎ノ門1-15-16（船舶振興ビル4階）
電話・東京03（504）1911～3　〒105
郵便振替番号2-21787
印　刷　正進社印刷株式会社

Yachting ヨッティング
SAIL & POWER GRAPHIC MAGAZINE

ヨット&ボートの本格派月刊誌
9月号
オールグラビア&オフセット
A4変型　定価850円

特集　徹底取材・キールレガッタ

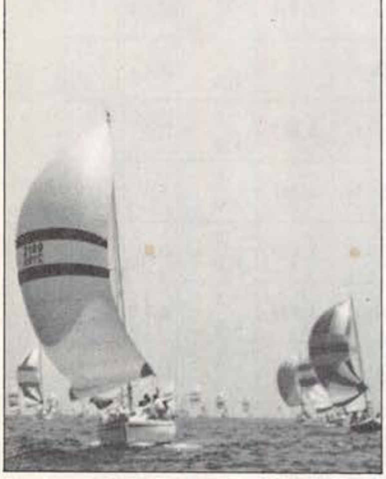
〔憧れの巡航日記〕ブルゴーニュの船旅
ヨーロッパ運河クルーズの楽しさ！（レポート・田辺英蔵）

大反響を呼ぶ連載
サイモン・ルボンの世界一周レース挑戦

〔ニューボートガイダンス〕
●クルーザー編／ヤマハ25・マイレディ
●パワーボート編／インペリアル33
その他ますます好調の新企画群満載！

特別付録　'87全国マリンショップカタログ

次号・10月号　9月10日発売



〒141　東京都品川区東五反田3-6-18　立風書房　TEL 447-1191　振替　東京5-74493